

第 32 号 (令和 2 年度分)

# 広島県立文書館 事業年報

歴史資料は 過去・現在・未来をつなぐ 私たちの財産です

もんじょかん  
広島県立文書館

# 目 次

## I 概 要

1	設置目的	1
2	業務内容	1
3	沿革	1
4	施設・設備	2
5	組織及び職員構成	3
6	文書館運営予算	4
7	収蔵資料	4
8	各階平面図	5

## II 事業報告

1	収集	6
2	整理	17
3	保存	20
4	利用	23
5	展示・普及啓発	26
6	研究・研修・調査	29
7	その他	29
8	業務日誌	31

## III 法律・条例・規則

1	公文書館法	34
2	広島県立文書館設置及び管理条例	34
3	広島県立文書館管理規則	34
4	広島県文書等管理規則（抄）	36
5	広島県文書等管理規程（抄）	36
	（利用案内）	37

# I 概要

## 1 設置目的

広島県に関する歴史的資料として重要な行政文書、古文書、その他の記録を収集し、及び保存するとともに、これらの利用を図り、もって学術及び文化の発展に寄与する。（広島県立文書館設置及び管理条例第1条）

## 2 業務内容

- (1) 文書等の収集、整理及び保存に関すること
- (2) 文書等の利用に関すること
- (3) 文書等の調査及び研究に関すること
- (4) 文書等についての専門的な知識の普及啓発に関すること
- (5) 文書等の目録、史誌、資料集等の編さん及び刊行に関すること
- (6) その他文書館の目的を達成するために必要な事業に関すること

## 3 沿革

昭和34年	11月	「公文書散逸防止について」日本学会会議が勧告
40年	1月	広島県立文書館設定期成会（代表 福尾広島大学教授）が組織され、文書館の設立及び官公庁の廃棄文書選別保存の必要性について関係方面へ運動を開始
40年	3月	広島県廃棄行政文書の選別収集を開始
43年	4月	広島県史編さん事業を開始
57年	2月	県立文書館建設調査研究協議会（55年10月発足、会長：今堀誠二広島女子大学学長）が知事に「広島県立文書館基本構想についての報告書」を提出
59年	3月	広島県史編さん事業が完了（昭和43年から16年間、全27巻）
	12月	広島大学跡地利用研究協議会（会長 荒木武広島市長）が跡地利用計画の最終案を決定 県立文書館、県立図書館、県立産業技術交流センターによる複合施設（仮称情報プラザ）として建設することが決定
63年	3月	広島県情報プラザ完成
	4月	総務部総務課に県立文書館開館準備担当を設置（広島県情報プラザ（文書館）で勤務）
	6月	公文書館法施行
	10月	広島県立文書館開館 広島県情報プラザ（文書館）落成式挙行 開館記念特別講演会を広島県情報プラザで開催
平成元年	10月	第15回全国歴史資料保存利用機関連絡協議会全国大会を広島県情報プラザで開催
5年	10月	開館5周年記念講演会を広島県情報プラザで開催
6年	6月	第6回都道府県・政令指定都市公文書館長会議を広島県情報プラザで開催
10年	5月	開館10周年記念パネル展を広島県情報プラザで開催
15年	3月	広島県のホームページに県立文書館ホームページを開設
15年	4月	中間書庫（広島市南区出汐二丁目旧地方公務員研修所）の使用開始
18年	2月	中間書庫を旧地方公務員研修所から旧観音職員寮（広島市西区観音新町四丁目）へ移転
20年	10月	開館20周年記念リバイバル展及び記念講演会を開催
23年	9月	広島大学文書館と「災害等の発生に伴う史・資料保護に関する相互協力協定書」を締結
24年	11月	第38回全国歴史資料保存利用機関連絡協議会全国大会を広島県民文化センター・鯉城会館で開催

25年	1月	当館寄託「福山市・山野村役場文書」が広島県重要文化財に指定
26年	4月	中間書庫として旧県立白木高校（広島市安佐北区白木町秋山 1210-1）の教室を確保
30年	9月	開館 30 周年記念講演会を開催
令和 2年	3月	新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館（3月 9 日～5月 23 日）

#### 4 施設・設備

県立文書館（総務局所属）は、県立図書館（教育委員会所属）、県立産業技術交流センター（商工労働局所管）、県立生涯学習センター（教育委員会所属）と共に「広島県情報プラザ」内に設置されている。

##### (1) 情報プラザ

所在地	広島市中区千田町三丁目 7 番 4 7 号			
用途地域	住居地域（建ぺい率 60%，容積率 200%）			
防火指定	準防火地域			
敷地面積	10,015.78㎡			
建築面積	5,666㎡			
延床面積	23,674㎡	内訳	文書館	2,530㎡
			図書館	6,190㎡
			産業技術交流センター	4,880㎡
			共有部分	10,074㎡

〔工期〕昭和 61 年 6 月～昭和 63 年 3 月 〔総事業費〕10,481,970 千円（うち、用地取得費 2,905,734 千円）  
 ＊県立生涯学習センターは、平成 21 年度に広島市東区から移転

##### (2) 文書館

###### ア 情報プラザ内（主要な専用部分のみ）

区 分	面積（㎡）	仕 様 等
閲覧室	203	21 席
閲覧準備室	35	8 席
展示室	90	ハロンガス消火設備
		固定展示ケース 2 面（延長 22.4m）
研修・会議室	94	62 人収容
調査研究室	43	書架（密集式）延長 451m
事務室	102	
館長室	22	
マイクロ撮影室	35	
製本補修室	29	和室 6 畳付
マイクロ保管庫	36	24 時間空調，ハロンガス消火設備
第 1 書庫	103	古文書用，24 時間空調，2 時間耐火構造，ハロンガス消火設備 壁面～防湿用発泡ウレタン吹付けの上，調湿板仕上 天井～防湿用発泡ウレタン吹付けの上，調湿用岩面板仕上 書架（密集）延長 1,314m

第2書庫	77	複製本用，2時間耐火構造，ハロンガス消火設備 壁面・天井は，第1書庫と同じ仕様 書架（密集）延長 932m
第3書庫	17	貴重書庫，24時間空調，2時間耐火構造，ハロンガス消火設備 壁面・天井は，第1書庫と同じ仕様 書架延長 34m
第4書庫	367	古文書用，24時間空調，2時間耐火構造，ハロンガス消火設備 壁面・天井は，第1書庫と同じ仕様 書架延長 1,411m
第5書庫	481	行政文書用，24時間空調，2時間耐火構造，ハロンガス消火設備 壁面・天井は，第1書庫と同じ仕様 書架（密集）延長 6,085m
旧消毒室	52	平成23年度に燻蒸設備を全て撤去し，書架を配置 平成24年度から書庫として活用 書架延長 400m
荷解整理室	95	書架延長 100m

※ 書架延長（第1書庫～第5書庫，旧消毒室・荷解整理室） 10,276m

※ 24時間空調の設定条件：温度 25度以下，湿度 55～60%

\* 令和2年度は，平成30年度に続き第4書庫の固定書架の一部（103m）を撤去し，新たに移動式書架（118m）を増設した。なお，平成30年度・令和元年度の年報では，キャスター付き書架を書架延長に含めたが，令和2年度からは含めないことにした。

## イ 中間書庫

平成15年4月1日，旧広島県地方公務員研修所（広島市南区出汐二丁目）を中間書庫として使用開始した。その後，平成18年2月28日，中間書庫を旧広島県観音職員寮（広島市西区観音新町四丁目）へ移転した。書架延長 2,799m（令和3年3月31日現在）。

また，平成26年度より旧白木高校跡施設（安佐北区白木町秋山）を中間書庫として利用している。

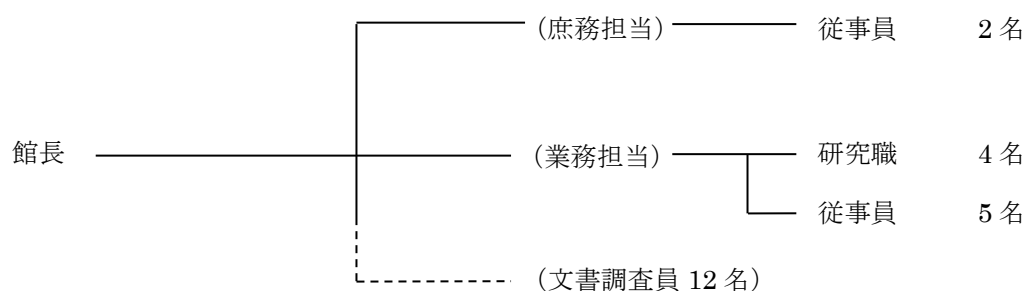
令和2年度は保存環境に問題がある1階旧応接室の書架を撤去した結果，書架延長は706mとなった（令和3年3月31日現在）。

## 5 組織及び職員構成（令和2年4月1日現在）

### (1) 職員定数

12名（常勤職員5名，従事員7名）

### (2) 組織の状況



### (3) 文書調査員

#### ア 委嘱

県内における歴史的資料の所在，保存状況等を把握するため，次の12名を委嘱した。

石田雅春	井長整次	折田恵子	菅 信博
高橋孝二	高橋 朋	竹本省三	寺川大雅
中畑和彦	三浦 忍	宮原千香子	宮本住逸

#### イ 文書調査員会議

令和2年度は，新型コロナウイルス感染症の感染拡大を予防するため，文書調査員会議を開催しなかった。

### 6 文書館運営予算（年度別当初予算）

（単位：千円）

区 分	平成28年度	29年度	30年度	令和元年度	2年度
文書館運営費	8,506	11,081	11,613	13,197	16,650
会計年度任用職員等人件費	20,826	15,260	15,447	18,678	22,826
施設維持費	11,061	11,384	11,384	11,594	11,594
大規模修繕費	173	12,221	12,663	16,082	2,232
計	40,566	49,946	51,107	59,551	53,302

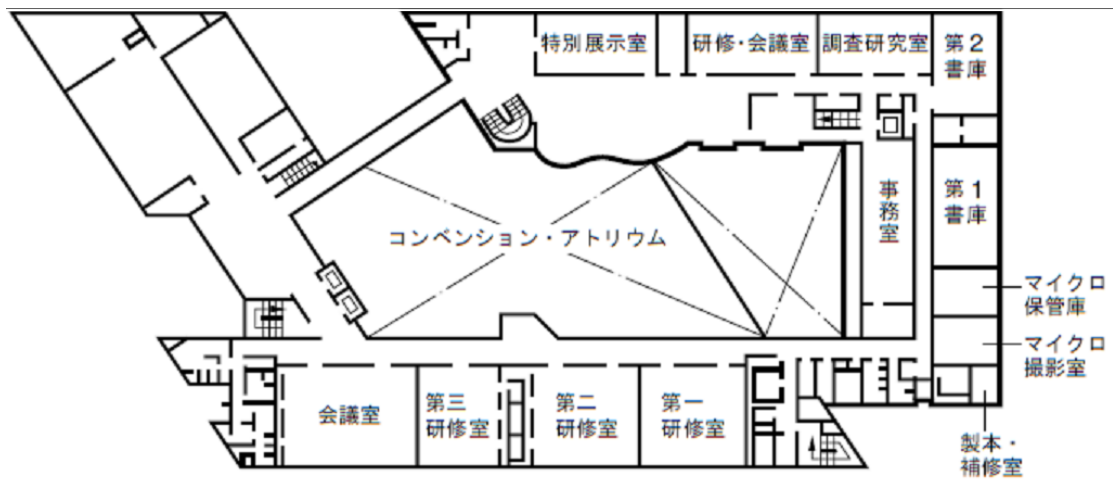
### 7 収蔵資料

令和2年度末現在の収蔵資料は，次のとおりである。

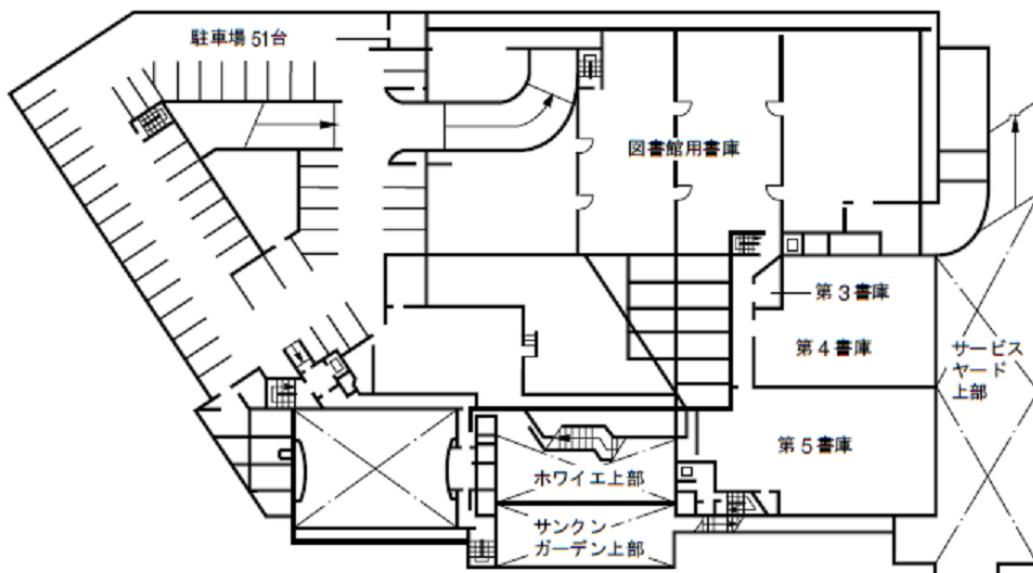
令和3年3月31日現在

種 類	内 容	現有資料数
行政文書	保存年限が満了した県の行政文書の中から，将来，歴史資料として価値があるものとして選別したもの，及び長期保存文書のうち移管を受けたもの	約 64,000 冊
行政資料	県・国・市町村が刊行する各種行政刊行物（外郭団体や民間団体の刊行物を含む。）	約 111,000 冊
古文書	県の行政文書以外の文書の総称で，文書館に寄贈・寄託されたもの	約 290,000 点
複製資料	古文書を撮影したマイクロフィルムとそれを焼付けたもの	約 236 万コマ
		約 40,000 冊
図 書	都道府県史，市町村史，郷土に関する図書	約 25,000 冊

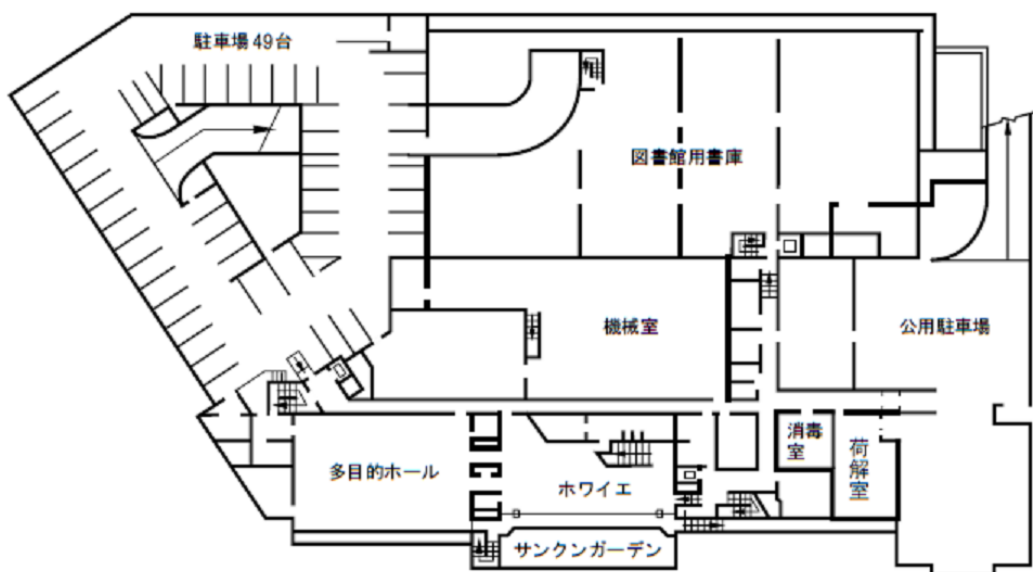
8 各階平面図



2階平面図



地下1階平面図



地下2階平面図

## II 事業報告

### 1 収 集

#### (1) 行政文書

令和2年度は、1,042冊の行政文書（知事部局本庁機関 899冊，同地方機関 25冊，教育委員会事務局 14冊，監査委員事務局 104冊）を選別収集した結果，収蔵行政文書は 55,471冊となった。

#### ア 行政文書課別冊数

課名	冊数	課名	冊数	課名	冊数
内務部第一課	6	広報広聴課	62	地域振興・総務室	12
県治課	3	行政情報室	71	地域政策総務課	23
内務部地方課	7	広報室	13	政策企画室	7
庶務課	35	広報課	7	分権改革課	43
広島県参事会	2	人事課	35	地方分権推進課	4
出納・総務室	4	職員課	1	地域企画室	128
出納総務室	6	財政課	1,537	地域調整室	4
会計総務課	3	財政室	512	地域開発課	158
会計課	36	税務課	8	地域振興課	743
指導検査室	8	税務室	2	地域政策室	40
企画指導室	2	消防防災課	336	中山間地域対策課	183
審査指導室	2	消防室	8	中山間地域振興課	38
審査指導課	4	保安室	4	中山間地域振興室	38
用度室	2	消防・保安室	1	広域行政推進課	3
用度課	1	消防保安課	1	地域政策課	17
総務事務課	2	危機管理室	32	地域力創造課	13
総務課	457	危機管理課	24	環境県民総務課	28
総務室	33	管財課	51	土地対策課	24
総務学事課	27	管財第一課	2	消費生活室	12
学事振興室	38	管財第二課	2	消費生活課	77
学事課	200	財産管理室	10	生活課	32
広島女子大学整備事務局	2	財産管理課	2	県民課	389
文書法制室	24	福利課	37	県民文化課	26
県史編さん室	8	福利室	2	文化振興室	72
東京事務所	12	職員健康推進室	2	生活文化室	11
文教課	93	政策企画課	58	県立生活センター	12
私学振興室	23	政策企画局	182	福山地方生活センター	6
学事室	7	企画調整局	6	三次地方生活センター	3
大学企画管理室	4	戦略推進課	1	県民文化室	78
渉外課	1	経営企画チーム	69	文化・県民協働室	18
外事課	138	情報政策課	76	文化芸術課	49
国際交流課	370	情報政策室	41	コミュニティ振興課	15
国際企画室	27	情報ネットワーク管理室	4	国民文化祭事務局	26
国際交流室	66	行政情報化推進室	3	交通安全対策室	66
国際室	2	研究開発室	8	交通対策課	124
国際課	6	企画広報課	43	交通対策室	42
秘書課	25	企画室	138	地方課	1,217
秘書広報課	101	企画課	440	市町村課	230
県民広報課	28	企画調整課	283	市町村行政室	40



課名	冊数	課名	冊数	課名	冊数
市町村税財政室	75	児童家庭課	202	健康対策課	179
市町行財政室	30	児童福祉課	247	健康増進室	15
市町行財政課	1,116	児童支援室	19	原爆被爆者対策課	70
市町村合併推進室	38	家庭支援室	17	原爆被爆者援護室	4
地域づくり推進室	40	こども夢プラン推進室	9	被爆者・毒ガス障害者対策室	15
地域行政室	5	こども家庭支援室	8	被爆者支援課	50
地域税財政室	14	こども家庭課	76	菓務課	223
権限移譲推進室	4	青少年対策室	39	菓務室	20
新過疎対策課	9	青少年婦人対策室	7	環境総務室	1
過疎対策課	4	青少年婦人課	145	環境生活総務室	4
地域整備課	165	青少年女性課	73	公害対策室	11
統計課	896	県民活動課	15	公害課	86
情報統計課	68	男女共同参画推進室	9	公害調整課	49
統計管理室	10	老人福祉課	81	環境調整課	10
生活統計室	3	高齢者対策課	130	環境管理課	170
経済統計室	3	高齢者福祉課	234	環境政策室	12
情報管理課	6	長寿社会室	6	公害規制課	67
空港対策室	11	高齢者福祉室	19	大気保全課	126
新空港建設推進事務局	10	高齢者支援室	12	環境保全課	284
空港対策局	10	高齢者支援課	5	環境政策課	131
空港交通対策課	10	地域包括ケア・高齢者支援課	14	環境対策室	21
援護課	293	介護保険準備室	3	環境調整室	45
民生課	15	介護保険推進事務局	17	自然環境保全室	1
援護恩給室	3	介護保険指導室	53	自然環境課	30
社会援護室	6	介護保険課	19	水質保全課	116
社会援護課	14	医療介護計画課	14	環境整備課	521
厚生課	116	医療介護人材課	47	循環型社会推進室	17
社会課	876	医療介護保険課	28	循環型社会課	3
福祉保健課	173	保険課	200	環境型社会推進室	1
福祉保健総務室	34	保険医療課	16	一般廃棄物対策室	6
健康福祉総務課	25	国保医療室	22	産業廃棄物対策室	1
福祉・企画管理室	7	医療保険室	16	産業廃棄物対策課	5
福祉指導課	137	医務課	451	商工課	283
社会福祉課	280	医療対策課	147	商工観光課	238
同和対策室	610	医療・歯科保健室	3	商政課	177
同和対策課	801	医務看護室	4	商工・総務室	20
人権施策室	30	健康増進・歯科保健室	3	商工労働総務室	6
人権・男女共同参画室	19	医療対策室	14	商工労働総務課	42
人権男女共同参画課	6	医療政策課	9	観光課	101
福祉課	32	医療保険課	22	通商観光課	29
地域福祉室	104	がん対策課	11	観光振興室	29
地域福祉課	35	ねんりんピック推進室	3	産業技術振興室	4
福祉指導室	25	保健対策室	12	工業技術課	102
障害福祉課	225	環境衛生課	505	産業技術課	63
身体障害者福祉室	13	生活衛生室	54	計量検定所	2
知的障害者福祉室	12	食品衛生室	20	計量検定室	4
障害者支援室	9	食品生活衛生課	19	新産業振興室	50
障害者支援課	88	予防課	96	新産業課	9
児童課	30	公衆衛生課	332	医工連携推進プロジェクト・チーム	2

課名	冊数	課名	冊数	課名	冊数
地域産業振興室	22	農林水産部企画室	4	農業基盤課	51
産業政策課	1	農林水産総務室	3	水産課	1,358
物流推進室	16	農林水産総務課	13	水産漁港課	632
立地・物流推進室	17	農業活性化推進室	5	水産振興室	9
流通対策課	110	団体検査室	168	漁業調整室	25
ひろしまブランド推進課	7	団体検査課	259	漁港漁場整備室	9
国際ビジネス促進室	4	農業担い手支援課	34	林政課	1,005
商業観光課	81	就農支援課	15	林務政策課	73
商工振興課	166	企画調整室	4	林務管理室	21
観光交流課	35	経営構造室	11	林業経営課	1
指導課	13	経営企画室	29	林産課	390
商工指導課	80	農業経済課	816	林業振興課	435
中小企業課	539	農地経済課	245	林業振興室	18
中小企業指導課	112	農業改良課	238	林業課	30
金融課	294	農業経営室	2	森林保全室	7
商工金融課	188	農業経営発展課	1	森林保全課	409
商工金融室	19	農業技術課	128	森林整備室	41
経営指導室	5	技術振興室	28	治山課	398
経営支援室	172	農業振興課	573	治山室	22
経営支援課	24	農村対策課	301	自然保護課	200
経営革新課	44	農業振興室	1	みどり景観室	61
工業振興課	45	園芸特産課	185	監理課	623
企業立地課	172	農産園芸課	335	土木・総務室	22
立地政策室	15	農業産地推進課	72	土木建築総務室	7
県内投資促進課	35	農産課	525	土木総務課	56
海外ビジネス課	3	農産振興室	21	企画調査室	4
労政管理室	8	販売推進課	5	技術管理室	16
労働福祉室	2	食糧課	2	技術管理課	191
労政課	813	食品流通課	117	技術企画課	13
労政福祉課	97	生産流通室	14	建設産業室	7
労政雇用課	20	食品流通安全室	5	建設産業課	6
勤労者福祉室	6	畜産課	1,135	技術総務室	21
労働福祉課	3	畜産振興室	53	技術指導室	2
雇用対策室	36	畜産環境室	38	用地課	30
雇用人材確保課	19	農地防災課	1	道路維持課	141
雇用労働政策課	30	農地課	24	道路整備課	97
福山商工労政事務所	11	耕地課	1,439	道路課	175
職業安定課	427	農村整備課	202	道路建設課	256
職業訓練課	80	農業活性化推進課	14	道路総務室	16
職業能力開発課	44	農地保全室	7	道路企画室	20
職業能力開発室	27	土地改良室	12	河川課	979
イノベーション推進チーム	9	開拓課	1	河川管理室	3
産業人材課	1	農地開拓課	315	河川企画整備室	3
農業経営課	14	農業開拓課	7	道路河川管理室	5
経済課	5	農業開発課	175	道路河川管理課	40
農政課	1,294	生産基盤室	5	河川開発室	4
農林企画課	67	生活基盤室	27	河川開発課	39
農林・総務室	1	農村基盤室	8	ダム建設室	3
農林水産部企画管理室	12	農林整備管理課	5	ダム室	10

課名	冊数	課名	冊数	課名	冊数
港湾課	798	県立病院課	24	芸北地域事務所厚生環境局・芸北地域保健所	93
広島みなとまちづくり推進室	13	県立病院管理室	13	東広島地域事務所厚生環境局・東広島地域保健所	6
港湾振興室	23	県立病院室	6	尾三地域事務所厚生環境局・尾三地域保健所	58
港湾管理室	10	広島復興事務所	1,058	福山地域事務所厚生環境局・福山地域保健所	9
港湾企画整備室	8	安芸地方事務所	22	備北地域事務所厚生環境局・備北地域保健所	72
港湾企画整備課	1	佐伯地方事務所	22	西部厚生環境事務所・西部保健所	48
港湾振興課	28	呉渉外労務管理事務所	177	西部厚生環境事務所広島支所・西部保健所広島支所	37
港湾漁港整備課	12	江田島渉外労務管理事務所	8	西部厚生環境事務所呉支所・西部保健所呉支所	21
砂防課	187	広島県引揚同胞更生会	237	西部東厚生環境事務所・西部東保健所	4
新空港地域整備室	11	呉地域事務所総務局	11	北部厚生環境事務所・北部保健所	1
空港対策課	47	芸北地域事務所総務局	64	福山児童相談所	10
空港振興室	11	東広島地域事務所総務局	13	福山こども家庭センター	7
空港振興課	5	福山地域事務所総務局	56	県立総合精神保健福祉センター	15
計画課	451	備北地域事務所総務局	11	食肉衛生検査所	5
都市計画課	458	西部総務事務所	1	動物愛護センター	12
都市総務室	21	西部総務事務所東広島支所	1	身体障害者更生相談所	18
都市総務課	2	東部総務事務所	6	呉高等技術専門校	20
都市政策課	168	北部総務事務所	46	三次耕地出張所	3
都市企画室	59	尾道県税事務所	2	尾道農林事務所	31
都市企画課	11	福山県税事務所	1	福山農林事務所	18
開発指導室	1	三次県税事務所	1	三次農林事務所	10
学園都市建設課	1	広島地域事務所税務局	9	庄原農林事務所	12
都市整備課	273	呉地域事務所税務局	17	甲山地域農業改良普及センター	2
都市整備室	19	芸北地域事務所税務局	6	広島地域事務所農林局	3
下水道課	111	東広島地域事務所税務局	25	呉地域事務所農林局	20
下水道室	21	尾三地域事務所税務局	1	芸北地域事務所農林局	34
公園下水道課	106	福山地域事務所税務局	2	東広島地域事務所農林局	1
建築課	257	備北地域事務所税務局	3	尾三地域事務所農林局	80
建築指導室	3	西部県税事務所廿日市分室	5	福山地域事務所農林局	39
住宅課	554	北部県税事務所	3	備北地域事務所農林局	52
住宅室	1	自治総合研修センター	1	備北地域事務所農林局庄原支局	46
住宅企画室	15	食品工業技術センター	1	西部農林水産事務所呉農林事業所	10
住宅管理室	1	東部工業技術センター	1	西部農林水産事務所東広島農林事業所	22
営繕課	44	林業技術センター	6	東部農林水産事務所	16
広島港建設課	2	呉保健所竹原支所	1	東部農林水産事務所尾道農林事業所	26
土地開発課	1	廿日市保健所	4	北部農林水産事務所	108
開発課	166	府中保健所	1	東部農業技術指導所	9
開発第一課	59	大柿地域福祉保健センター・呉保健所大柿支所	2	北部農業技術指導所	1
開発第二課	30	廿日市福祉保健センター・廿日市保健所	2	西部畜産事務所	1
開発用地課	26	三原福祉保健センター・三原保健所	2		
開発総務課	57	広島地域事務所厚生環境局・広島地域保健所	36		
総務課（企）	109	広島地域事務所厚生環境局・広島地域保健所海田分室	11		
企業・総務室	9	呉地域事務所厚生環境局・呉地域保健所	66		
企業総務課	10				
経理課	43				
開発分譲課	8				
水道課	79				
水道管理室	3				
水道整備室	1				

課名	冊数	課名	冊数	課名	冊数
県立農業技術大学校	5	労働委員会事務局	2	教委スポーツ振興課	2
広島土木出張所	9	内水面漁場管理委員会事務局	1	教委スポーツ健康課	2
広島土木建築事務所	152	広島海区漁業調整委員会事務局	20	教委学事課	4
広島都市計画事務所	2	教育委員会	104	教委特別支援教育課	9
西条土木出張所	1	教委総務課	220	教委芸芸出張所	1
西条土木事務所	1	教委総務調査課	124	西部教育事務所芸北支所	1
廿日市土木建築事務所	1	教委秘書広報室	4	尾三教育事務所	2
東広島土木建築事務所	1	教委教職員課	26	東部教育事務所	1
芸北地域事務所建設局	1	教委施設課	142	県立図書館	3
尾三地域事務所建設局	2	教委健康福利課	5	県立歴史博物館	2
福山地域事務所建設局	1	教委教育企画課	26	広島観音高等学校	20
備北地域事務所建設局庄原支局	2	教委学校経営課	86	大和高等学校	1
備北地域事務所建設局上下支局	3	教委学校経営支援課	18	広島工業高等学校	138
西部建設事務所安芸太田支所	17	教委高校教育指導課	15	神辺高等学校	361
北部建設事務所庄原支所	5	教委指導課	69	可部高等学校	94
広島港事務所	5	教委指導第一課	99	庄原格致高等学校口和分校	121
広島港湾事務所	1	教委指導第二課	17	広大型成同盟会	29
広島港湾振興事務所	131	教委指導第三課	14	広大推進本部	28
監査室	27	教委義務教育指導課	36	県立広島大学三原キャンパス事務部	5
審査室	27	教委豊かな心育成課	5	県立広島大学庄原キャンパス事務部	5
監査委員事務局	1,052	教委社会教育課	145	警察本部	1
人事委員会事務局	95	教委生涯学習課	7		
人事委員会総務審査室	2	教委文化課	16		
人事委員会総務審査課	3	教委文化財課	42		
地方労働委員会	89	教委保健体育課	75	総計	55,471

### イ 完結年度別行政文書冊数

完結年度（西暦）	冊数	完結年度（西暦）	冊数	完結年度（西暦）	冊数	完結年度（西暦）	冊数
明治 17 (1884)	1	大正 9 (1920)	4	昭和 14 (1939)	13	昭和 33 (1958)	572
18 (1885)	1	10 (1921)	4	15 (1940)	9	34 (1959)	742
24 (1891)	1	11 (1922)	6	16 (1941)	21	35 (1960)	898
26 (1893)	9	12 (1923)	6	17 (1942)	17	36 (1961)	918
27 (1894)	1	13 (1924)	6	18 (1943)	16	37 (1962)	825
29 (1896)	1	14 (1925)	3	19 (1944)	20	38 (1963)	1,045
30 (1897)	1	昭和元 (1926)	8	20 (1945)	26	39 (1964)	963
33 (1900)	9	2 (1927)	8	21 (1946)	61	40 (1965)	758
37 (1904)	1	3 (1928)	6	22 (1947)	50	41 (1966)	862
38 (1905)	1	4 (1929)	5	23 (1948)	95	42 (1967)	1,137
43 (1910)	2	5 (1930)	7	24 (1949)	99	43 (1968)	1,292
44 (1911)	1	6 (1931)	5	25 (1950)	224	44 (1969)	1,095
大正元 (1912)	19	7 (1932)	6	26 (1951)	222	45 (1970)	1,401
2 (1913)	3	8 (1933)	6	27 (1952)	231	46 (1971)	1,180
3 (1914)	2	9 (1934)	8	28 (1953)	172	47 (1972)	1,177
4 (1915)	1	10 (1935)	8	29 (1954)	182	48 (1973)	1,411
6 (1917)	1	11 (1936)	7	30 (1955)	255	49 (1974)	1,298
7 (1918)	1	12 (1937)	7	31 (1956)	499	50 (1975)	897
8 (1919)	1	13 (1938)	14	32 (1957)	478	51 (1976)	668

完結年度（西暦）	冊数	完結年度（西暦）	冊数	完結年度（西暦）	冊数	完結年度（西暦）	冊数
昭和 52（1977）	1,115	昭和 63（1988）	720	平成 11（1999）	1,043	平成 22（2010）	675
53（1978）	999	平成元（1989）	598	12（2000）	1,637	23（2011）	890
54（1979）	808	2（1990）	2,253	13（2001）	1,135	24（2012）	421
55（1980）	680	3（1991）	740	14（2002）	1,160	25（2013）	212
56（1981）	719	4（1992）	697	15（2003）	768	26（2014）	199
57（1982）	867	5（1993）	847	16（2004）	644	27（2015）	12
58（1983）	769	6（1994）	860	17（2005）	853	30（2018）	2
59（1984）	693	7（1995）	2,179	18（2006）	666	年度不明	629
60（1985）	733	8（1996）	825	19（2007）	530		
61（1985）	552	9（1997）	1,237	20（2008）	586		
62（1987）	664	10（1998）	1,337	21（2009）	507	総 計	55,471

## ウ 令和 2 年度収集行政文書課別冊数

課名	冊数	課名	冊数	課名	冊数	課名	冊数
総務課	1	薬務室	5	海外ビジネス課	1	三次耕地出張所	3
国際企画室	2	自然環境課	5	農政課	10	三次農林事務所	7
人事課	33	商工課	24	農林水産総務課	4	西部農林水産事務所	3
職員課	1	商工観光課	24	団体検査課	41	呉農林事業所	
政策企画局	6	商政課	49	農業担い手支援課	21	北部建設事務所庄原支所	1
戦略推進課	1	商工労働総務課	3	就農支援課	14	広島港湾振興事務所	11
経営企画チーム	23	観光課	9	企画調整室	1	監査委員事務局	104
企画室	2	商工振興課	2	耕地課	1	教委学校経営課	1
分権改革課	11	指導課	13	農村整備課	5	教委学校経営支援課	2
環境県民総務課	2	商工指導課	20	農業活性化推進課	8	教委義務教育指導課	1
文化芸術課	35	中小企業課	110	農業基盤課	6	教委文化課	2
社会援護課	1	金融課	130	林業振興室	1	教委文化財課	8
健康福祉総務課	5	商工金融課	53	森林保全課	3		
障害者支援課	5	商工金融室	2	土木総務課	2		
医療介護保険課	2	経営支援室	66	技術企画課	12		
医療政策課	2	経営支援課	23	港湾漁港整備課	12		
被爆者支援課	43	経営革新課	22	都市計画課	1		
薬務課	13	県内投資促進課	5	住宅課	3	総 計	1,042

## (2) 行政文書（長期保存文書）

平成 24 年 4 月 1 日の広島県文書等管理規則改正に伴い、保存年限区分の「長期」が廃止され、最長保存期間が 30 年となった。また、規則改正前に保存年限を「長期」としていた文書等のうち完結後 30 年が経過したものについては、特別の理由がある場合を除き文書館長に引き渡すよう努めるものとされた。平成 25 年 4 月 1 日には広島県教育委員会事務局等文書管理規程が改正され、保存年限が「長期」である文書に関して、知事部局と同様の規定が設けられた。

令和 2 年度は長期保存文書の移管はなかった。令和 3 年 3 月 31 日現在、文書館で収蔵している長期保存文書は合計 8,311 冊で、その内訳は次のとおりである。

ア 移管長期保存文書課別冊数

課名	冊数	課名	冊数	課名	冊数
県治課	4	公害規制課	6	河川課	359
庶務課	12	商工課	62	河川開発課	12
総務課	193	商工観光課	46	港湾課	1,169
文教課	15	商政課	3	砂防課	58
渉外課	8	観光課	1	計画課	18
外事課	8	工業技術課	186	都市計画課	28
秘書課	62	商工指導課	23	都市総務課	6
人事課	1	中小企業課	17	下水道課	2
財政課	309	金融課	35	建築課	75
消防防災課	100	労政課	57	住宅課	377
管財課	232	職業訓練課	77	営繕課	12
管財第一課	7	職業能力開発課	1	広島港建設課	2
管財第二課	1	農業経営課	83	開発課	32
福利課	78	農政課	244	開発第一課	12
企画広報課	2	農業経済課	77	開発用地課	28
企画課	68	農地経済課	17	開発総務課	9
土地対策課	6	農業改良課	35	経理課	25
交通対策課	23	農業技術課	16	水道課	31
地方課	351	農業振興課	5	県立病院課	9
市町村課	13	農村対策課	1	佐伯地方事務所	2
統計課	36	園芸特産課	4	江田島渉外労務管理事務所	1
民生課	2	農産園芸課	2	教委総務課	338
厚生課	23	農産課	1	教委総務調査課	5
社会課	62	食品流通課	9	教委教職員課	42
福祉課	2	畜産課	39	教委学校管理課	3
障害福祉課	21	農地課	2	教委義務教育課	4
児童課	50	耕地課	398	教委高校教育課	2
児童家庭課	93	農地開拓課	5	教委指導課	200
児童福祉課	45	農業開発課	19	教委指導第一課	2
青少年対策室	2	水産課	146	教委指導第二課	9
保険課	13	水産漁港課	1	教委義務教育指導課	3
医務課	180	林政課	184	教委社会教育課	17
環境衛生課	35	林産課	12	教委生涯学習課	28
予防課	47	治山課	227	教委文化課	111
公衆衛生課	138	自然保護課	2	教委学事課	8
原爆被爆者対策課	2	監理課	228	教委障害児教育室	3
薬務課	58	用地課	182		
公害課	16	道路維持課	470		
公害調整課	4	道路課	13		
環境調整課	1	道路建設課	10	総計	8,311

イ 完結年度別移管長期保存文書冊数

完結年度（西暦）	冊数	完結年度（西暦）	冊数	完結年度（西暦）	冊数	完結年度（西暦）	冊数
明治 41（1908）	1	昭和 17 （1942）	4	昭和 35 （1960）	192	昭和 53 （1978）	426
42（1909）	1	18（1943）	4	36（1961）	206	54（1979）	74
43（1910）	1	19（1944）	1	37（1962）	243	55（1980）	43
大正 10（1921）	2	20（1945）	6	38（1963）	277	56（1981）	42
11（1922）	1	21（1946）	19	39（1964）	261	57（1982）	68
12（1923）	6	22（1947）	11	40（1965）	332	58（1983）	32
14（1925）	1	23（1948）	38	41（1966）	322	59（1984）	26
昭和 2（1927）	2	24（1949）	71	42（1967）	324	60（1985）	15
4（1929）	2	25（1950）	89	43（1968）	418	61（1985）	2
7（1932）	1	26（1951）	125	44（1969）	345	62（1987）	1
9（1934）	2	27（1952）	114	45（1970）	307	63（1988）	1
10（1935）	1	28（1953）	98	46（1971）	313	平成元（1989）	1
11（1936）	2	29（1954）	114	47（1972）	405	3（1991）	1
12（1937）	4	30（1955）	145	48（1973）	431	4（1992）	1
13（1938）	1	31（1956）	206	49（1974）	383	10（1998）	1
14（1939）	3	32（1957）	189	50（1975）	349	年度不明	133
15（1940）	3	33（1958）	179	51（1976）	342		
16（1941）	2	34（1959）	200	52（1977）	345	総 計	8,311

(3) 行政資料

令和 2 年度は 949 冊を収集し、23 冊を廃棄（図書への登録替え）した結果、累計は 110,862 冊となった。

年 度	広島県	市町村	国	その他	計	累 計
平成 23 年度まで	37,447	7,428	13,765	36,754	95,394	95,394
24 年度	1,000	215	197	619	2,031	97,425
25 年度	1,155	211	323	1,322	3,011	100,436
26 年度	1,331	79	91	337	1,838	102,005
〃（廃棄等）	-168	-9	0	-92	-269	
27 年度	1,064	314	58	1,005	2,441	104,446
28 年度	1,216	191	47	458	1,912	106,342
〃（廃棄等）	-10	0	0	-6	-16	
29 年度	849	83	22	106	1,060	107,401
〃（廃棄等）	-1	0	0	0	-1	
30 年度	1,014	68	65	117	1,264	108,665
令和 元年度	922	137	21	191	1,271	109,936
2 年度	756	49	17	127	949	110,862
〃（廃棄等）	-13	-6	0	-4	-23	
計	46,562	8,760	14,606	40,934	110,862	110,862

#### (4) 古文書

##### ア 原文書の収集

令和2年度は、2,793点の寄贈・寄託を受ける一方で、寄託文書のうち、広島銀行「創業百年史」編纂資料（199109）59点、大内基康氏収集文書2点、三浦昇一資料78点、計139点を返却した。この結果、収集総数は290,419点となった。

年度	文書名等	点数 (推定)	寄贈・ 寄託等	内 容
平成 21年度 まで	竹内家文書、橋本家文書、八田家文書、県議会文書、山野村役場文書、広島銀行「創業百年史」編纂資料、広島築港百年史編纂委員会資料、長船友則氏収集資料ほか	214,998	移管 寄贈 寄託	割庄屋文書、商家文書、国会・銀行・地主文書、県議会議事録、明治～昭和役場文書、銀行史文書、港湾史編纂資料、中国地方鉄道・全国時刻表ほか
22年 度	石津他人氏収集資料、堀江家文書、兒玉家文書、藏田家文書、植田家文書、長船友則氏収集資料、井上家文書ほか	2,485	寄贈 寄託	小学校教師指導書等、刊本・雑誌、辞令類、安芸郡坂村組頭・庄屋・割庄屋、坂村長文書、賀茂郡寺家村庄屋文書、世羅銀行・貴族院議員関係文書、中国地方鉄道関係資料、山県郡加計村売仕切状・書状など
23年 度	臼井家文書、堰水尾家文書、檜崎修策氏収集資料、林義孝氏所蔵資料、横路家文書、溝下家文書ほか	3,606	寄贈 寄託	農業日誌等、真宗經典類等、明治20年代『中国新聞』・『安芸津新報』等、縮景園内建造物復旧図面等、奴可郡田殿村鉄穴資料、牧場資料等、佐伯郡上平良村溝下家の証文、地券、証書など
24年 度	兒玉家文書、寺岡家文書、堀江家文書、林家文書、兼田文隆氏所蔵資料、薦田允彦氏収集文書ほか	6,675	寄贈 寄託	医師収集の和書、福山藩の村役人文書、恵蘇郡南村大宮八幡宮関係文書、陸軍大佐収集の和漢書、観光映画フィルム原版等、尾道町の文書など
25年 度	小都勇二資料、佐々木要氏収集資料、高橋家文書、岡本克子氏収集資料、広島県傷痍軍人会資料ほか	12,322	寄贈 寄託	吉田町郷土史家収集資料、満州分村常金丸開拓団の文書、松永町製塩関係や上下田辺家分家の文書、高屋東村庄屋文書、解散団体資料など
26年 度	藤原浩修氏所蔵文書、平野家文書、広島県信用組合六十年史編纂資料、森家文書、広島労音機関紙ほか	5,825	寄贈 寄託	社会運動家資料・文化運動刊行物等、世羅郡津口村の庄屋文書、銀行資料、高田郡秋山村の庄屋文書、戦後の音楽鑑賞団体機関誌など
27年 度	高路家文書、栗栖家文書、清水高雄文書、谷口博資料、埤坂道子氏所蔵文書、松崎家文書ほか	3,111	寄贈 寄託	土地書類等、広島藩士知行目録等、日中戦争の「従軍手帳」、文書関係研究著作、病院職員の被爆資料、村会議員文書など
28年 度	片山家文書、小砂家文書、玉谷家文書、吉川村役場文書、栗根家文書、町野家文書、高野虎市資料ほか	3,364	寄贈 寄託	和書・郷土図書・軸物、深津郡野上村・高宮郡下中野村・沼田郡久地村の庄屋文書、村役場の明治～昭和行政文書、広島藩士、チャップリンの秘書資料など
29年 度	大藤家文書、荒木家文書、兒玉家文書、高下家文書、小林家文書、福島家文書、佐々木家文書ほか	7,534	寄贈 寄託	広島藩士系図等、佐伯郡下河内村免状等、山県郡有田村医師和書、同郡下殿河内村のガラス乾板写真等、奴可郡保田村名寄帳等、沼田郡飯室村会議案等、呉市小学校教員資料など
30年 度	和田家文書、多田家文書、三浦昇一資料、松田家文書、友久武文資料、植林家文書、長船友則氏収集資料など	25,427	寄贈 寄託	佐伯郡割庄屋文書（大竹市重要文化財）、広島藩剣術師範文書、部落解放・労働運動・社会運動資料、農業経営帳簿、田植歌関係資料、醤油醸造業・酒造業資料、鉄道図書・写真集・スクラップ・絵葉書など



令和 元年度	宇吹暁氏所蔵文書（藤居平一資料）、牧村家文書、中曾家文書、土井作治氏所蔵文書、広島県退職校長会収集資料など	2,279	寄贈 寄託	原水禁運動関係資料、広島藩士文書、佐伯郡水内村長文書・教科書・和書・証文、広島県史など編さん関係資料、満蒙開拓青年義勇隊関係資料など
2年度	藤原惣一収集文書（202001）	260	寄贈	絵葉書
	旧埼玉県蚕業試験場所蔵文書（202002）	51	寄贈	広島県蚕業試験場・広島県立農業試験場の刊行物
	横田登旧蔵文書（202003）	5	寄贈	産業奨励館の蔵書印やラベルのある図書
	上原区有文書（202004）	2,067	寄託	
	田中眞一文書（202005）	20	寄贈	
	横山家文書（202006）	25	寄託	
	渡辺家文書（202007）	198	寄贈	
	永井（操）家文書（202008）	36箱	寄贈	
	佐伯家文書（202009）	3	寄贈	
	専法寺文書（202010）	1	寄託	三次藩士の「広島引越当所御家中衆」
	松崎（守）家文書（202011）	2	寄贈	奴可郡帝釈富くじ
	増尾家文書（202012）	34	寄贈	
	廣重家文書（202013）	30	寄贈	
	長船友則氏収集文書（200407）	25	寄託	
	梶矢祥弘氏収集文書（200507）	7	寄贈	
	井上家文書（200808）	28	寄贈	
	兼田文隆氏所蔵文書（201211）	1	寄贈	DVD『四季の宮島 厳島神社』
計	2,793			
計	290,419			

※1箱は1点とした。

## イ マイクロフィルムによる収集

令和2年度は新たな収集は行わなかった。収集総数は715,390点である。

年 度	文 書 名	所 在	コマ数
平成11年度まで	防衛庁戦史部図書館、阿蘇家文書、竹鶴家文書、藤井家文書、中垣家文書、山野村役場文書、多田家文書ほか	東京都、向島町、竹原市、豊町、広島市安佐北区、県立文書館	628,677
12年度	防衛庁戦史部図書館、大儀正夫氏収集文書、国会図書館史料、能美町教育委員会文書、山野村役場文書、友近家文書、竹内家文書	東京都、広島市南区、県立文書館、佐伯郡能美町、広島市安佐北区	53,053
13年度	原田家文書、宮沖家文書、秋本家文書、山野村役場文書、細川家文書	広島市安佐北区、佐伯郡能美町、県立文書館	9,352
14年度	防衛庁防衛研究所図書館史料、米田家文書、原田家文書、「明治の令達」、大崎町教育委員会所蔵文書	東京都、双三郡吉舎町、広島市安佐北区、三原市、豊田郡大崎町	5,233
15年度	国立公文書館史料、「明治の令達」	東京都、三原市	6,156
16年度	福原家文書、天野家文書、三上家文書、近藤家文書、鶴羽根神社文書	東広島市、安芸高田市、広島市東区	623
17年度	西養寺文書、市立竹原書院図書館（複製）	竹原市	4,057

24年度	檜崎修策氏収集資料（安芸津新報・芸備日日新聞・中国新聞），広島県行政文書（特別調査一件など）	県立文書館	8,239
計			715,390

### ウ デジタル化による収集

令和2年度は、当館が所蔵する『中国新聞』と『夕刊ひろしま』の欠号のうち、中国新聞社が所蔵する号について同社のマイクロフィッシュを借用してデジタル化し、その紙焼きを製本した。また、当館が収蔵する山県・佐伯・沼田・高宮・賀茂・世羅郡の村絵図のデジタル撮影を行った。

年度	文書群名	内容	コマ数
平成21年度	長船友則氏収集資料（200407）	広島市・三原市・福山市・呉市等地図 絵葉書	1,273 1,233
22年度	木村恒氏旧蔵文書（200602）	幕末広島藩海防絵図	25
	三吉鼓家文書（199708）	はね踊りの図（山口素絢画）	5
	竹内家文書（198801）	四日市町並絵図	14
	竹内家文書（198801）	賀茂郡往還筋景色絵図	12
	山田家文書（198810）	広島城下絵図（享和元年）	11
	保田家文書（199603） 広島県広報写真	広島城下絵図（寛永年間） 広報用各種写真	61 74,580
23年度	広島県移住史関係写真	広島県知事歓迎会写真	9
24年度	行政文書中の写真 厳島神社文書・野坂文書（県史複製資料）	被爆直後と復興の様子，ほか	1,102 7,281
	檜崎修策氏収集資料（201104）	安芸津新報・芸備日日新聞・中国新聞	3,338
28年度	小野友五郎家文書（198909）	日記など	2,930
30年度	行政文書	引揚者在外事実調査票	10,076
令和元年度	行政文書	引揚者在外事実調査票	8,828
平成28～令和元年度	大阪朝日新聞・朝日新聞（マイクロフィルム）	広島版など	30,636
令和2年度	中国新聞社所蔵マイクロフィッシュ	中国新聞	3,588
		夕刊ひろしま	354
	竹内家文書（198801）	沼田・賀茂郡村絵図	2
	重清家文書（198819）	高宮郡村絵図	1
	波多野家文書（199503）	世羅郡村絵図	51
	和田家文書（201804） 渡辺家文書（202007）	山県・佐伯郡村絵図 佐伯郡村絵図	70 1
計			145,481

## 2 整理

### (1) 行政文書

行政文書は、完結後 30 年を目途に再選別を行い、保存することになった文書について、件名目録（文書一件ごと、すなわち各起案文書、收受文書ごとの目録）を作成し、簿冊ごとに概要を記述する。

令和 2 年度は、367 冊の整理・登録を行った（件名入力数は 5,593 件）。

入力区分	整理点数
概要・件名入力をした簿冊数	367
件名入力数	5,593

### (2) 行政資料

行政資料については、各課の資料について行政情報コーナーを通じて収集したもの、廃棄予定文書の中から収集したもの、当館に送付されてきたものなどを発行主体別に整理した。

区 分	整理点数
広島県発行	756
市町村発行	49
国発行	17
その他発行	127
計	949

### (3) 古文書

令和 2 年度は、次の文書群について整理とデータベースへの入力を行った。

群番号	文書群名	整理点数	データ件数
198914	広島市 石踊一則氏収集文書	20	20
199010	安芸国賀茂郡市飯田村 市飯田区有文書	17	23
199406	広島県廿日市市 林彰三氏収集文書	1	1
199509	安芸国賀茂郡国近森近村 木原家文書	638	1235
199904	広島県安芸郡坂町 坂町漁業協同組合文書	0	122
199906	広島県東広島市 徳光義治氏収集文書	7	7
200407	広島市 長船友則氏収集資料	25	806
200507	広島県安芸郡熊野町 梶矢祥弘氏収集文書	7	7
200520	神奈川県川崎市 島田叔昌氏所蔵文書	1	1
200525	備後国恵蘇郡宮内村 小原家文書	12	15
200604	安芸国賀茂郡高屋東村 徳光家文書	46	51
200808	安芸国高田郡佐々井村 井上家文書	28	39
201202	備後国豊田郡乃美村 児玉家文書	275	628
201307	広島県福山市松永町 岡本克子氏収集文書	1,879	1,717
201609	備後国深津郡野上村 小砂家文書	121	386
201614	安芸国広島城下 町触等下張文書	6	6
201702	安芸国佐伯郡下河内村 荒木家文書	60	60

201806	広島県福山市 三浦昇一資料	2,693	2,693
201807	備後国三谿郡檜村 奥田家文書	78	87
201808	広島県双三郡吉舎町 瀧口家文書	27	27
201809	広島県双三郡吉舎町 田原家文書	31	99
201815	広島市 友久武文資料	312	339
201904	広島県呉市（広島市）宇吹暁氏所蔵文書(藤居平一資料)	378	530
201908	安芸国佐伯郡下村 中曾家文書	1,246	1,248
201911	広島県尾道市 和氣成祥氏所蔵文書	2	4
201914	広島県佐伯郡地御前村 濱田家文書	2	2
201915	広島県佐伯郡大野村 松原家文書	333	338
202001	広島県比婆郡山内西村 藤原惣一収集文書	260	381
202002	埼玉県 旧埼玉県蚕業試験場所蔵文書	51	49
202003	広島市 横田登旧蔵文書	5	5
202005	広島市 田中眞一文書	20	20
202006	広島県高宮郡鈴張村 横山家文書	25	25
202007	広島県佐伯郡地御前村 渡辺家文書	198	200
202009	広島県佐伯郡保井田村 佐伯家文書	3	3
202010	備後国三次郡三次町 専法寺文書	1	1
202011	備後国奴可郡森村 松崎（守）家文書	2	2
計		8,810	11,177

※ 整理点数とデータ入力件数が一致しないのは、集合資料 1 点の内訳を入力する場合があったり、逆に複数の資料を 1 つのレコードでまとめて入力したりすることによる。

#### (4) 複製資料

開館後にマイクロフィルム等により撮影した複製資料について、令和 2 年度は、次の文書群の整理とデータベースへの入力を行った。

群番号	文書群名	ファイル数	データ件数
P198903	安芸国賀茂郡国近森近村 木原家文書	67	262
P198907	安芸国佐伯郡大野村 中丸（主）家文書	41	41
P198907	安芸国佐伯郡大野村 新田家文書	342	385
P199101	安芸国佐伯郡津田村 石社家文書	52	52
P199301	安芸国山県郡上石村 小田家文書	37	37
P199423	広島県世羅郡世羅西町 長谷川春秋氏収集文書	210	237
P199901	備後国御調郡尾道村 阿蘇家文書	3	3
P200102	広島県沼田郡毛木村 宮沖家文書	136	132
P200104	広島県豊田郡大崎町 大崎町教育委員会蔵文書	4	4
P200105	広島県三原市 三原市立中央図書館蔵桜山文庫（澤井常四郎氏寄贈）	41	41
計		933	1,194

※ ファイル数とデータ件数が一致しないのは、ファイル 1 冊に複数の資料があったり、逆に 1 点の資料が複数のファイルにわたる場合があることによる。

## (5) データベースシステム

収蔵資料の目録データや画像等のコンテンツデータについては、従来、ホームページや紙ファイルによりその一部を公開していたが、利用者からの照会に対しては、文書館員が Microsoft Access を利用して作成した専用のデータベースを検索することにより対応していた。

本年度、今後の安定的な運用を確保するためデータベースシステムを刷新することとし、クラウド型のデジタルアーカイブシステムを採用し、令和3年3月1日に新データベースシステムを公開したことにより、利用者がインターネットを通じて収蔵資料を検索、閲覧することが可能になった。

このデータベースシステムは8つのデータベースから構成されており、令和3年3月31日現在の公開件数は次のとおりである。

データベース名	公開件数	内 容
行政文書（簿冊）データベース	59,149	広島県が作成した行政文書のうち、歴史的に重要な文書として選別し、当館で保存する文書（簿冊）の目録
行政文書（件名）データベース	13	行政文書の簿冊に含まれる個々の文書の件名目録
文書群データベース	574	古文書や複製資料の文書群に関する情報
収蔵資料データベース（古文書、行政資料、図書等）	309,843	当館が収蔵する古文書、複製資料、行政資料（行政刊行物）、図書、論文抜刷の目録
県通達類データベース	37,323	戦前に広島県が町村に発出した通達類（市町村の行政文書の複製資料）の目録
県報データベース	24,823	明治時代初期から現代までの広島県の公報（布達類、県報）の件名目録
画像データベース	1,221	古文書等に含まれる絵葉書や絵図等の画像
県広報写真等データベース	165	広島県の広報写真や、行政文書中に含まれる写真
計	433,111	

### 3 保 存

#### (1) 殺虫殺菌処置

##### ア 燻蒸処置

9月18日（金）から23日（水）まで業者の燻蒸室において、次の文書について、業者委託によりエキヒュームS（酸化エチレンガス）による燻蒸を実施した。

文書群名など（登録番号）	箱 数
行政文書	85 箱
松原家文書（201915）	7 箱
永岡家文書（201814）	9 箱
上原区有文書（201813）	10 箱
県立図書館郷土資料	84 箱
計	195 箱

##### イ 低温殺虫処置

令和2年10月8日（木）から令和3年3月18日（木）まで、永井（操）家文書（202008，段ボール箱20箱分），令和3年3月18日（木）から5月11日（火）まで、永井（操）家文書（202008，段ボール箱16箱分）を大型冷凍庫により低温殺虫処置した。

#### (2) 平成30年7月豪雨災害の被災資料保全活動

「平成30年7月豪雨」の被災資料保全活動について、収蔵文書展「災害を語る歴史資料」（開催期間 令和2年10月5日～12月26日）で紹介し、保全活動の概要をパネル展示するとともに、レスキューした文書のうち、当館に寄贈された榎林家文書（201820）や、レスキューで使用した用具類などを展示した。

#### (3) 書庫の保存環境改善

平成28年12月に発生した第5書庫でのカビ被害への対応策として、令和2年度も引き続き次のような処置や作業を行うとともに、各書庫の書庫環境の改善に努めた。

##### ア 温湿度のモニタリングと管理

館内の各書庫・マイクロ保管庫・展示室・荷解室及び観音書庫・白木書庫に設置した計26台のデータロガーで温湿度を計測して記録管理した。書庫内の温湿度は毎朝目視で確認し、定期的（カビの発生した第5書庫は週に1回，その他の書庫は月に1回）に温湿度のデータを採取し，計測の結果は業務日誌に記載して，館内で情報を共有した。また，ハンディデジタル温湿度計で，書庫の隅や湿度がたまりやすい書庫内各所の温湿度を計測して，除湿対策に活用した。

館内各書庫の空調管理を担当する広島県情報プラザ中央監視室とは，データロガーで計測した温湿度の情報を共有し，温湿度の数値に急激な変化がある場合は双方で協議し，空調の温度設定を調節して適切な温湿度の維持に努めた。

令和2年度の館内各書庫の相対湿度は60%以下に保たれ，新たなカビの発生は見られなかった。

## イ 館内書庫内の除湿と通風の強化

書庫内の除湿対策として、第5書庫では、業務用大型除湿機2台と大型家庭用除湿機1台を設置して、6月から11月まで24時間稼働させた。他の書庫に設置した業務用大型除湿機も、温湿度の状況を見ながら、6月から11月まで同様に稼働させた。

書庫内の通風対策としては、第5書庫内の通路に大型サーキュレーター3台を設置し、通年24時間稼働させた。第5書庫の集密書架のレーンは常に等間隔に開け、定期的に書架を動かして通風に配慮した。第4・第5書庫の前室には空調設備がないため、夏季の除湿と空気循環の促進のために、除湿機と大型サーキュレーターを稼働させた。

書庫奥側の湿度が高い第2書庫（複製資料庫）では、奥側のレーンを常時開けて小型のサーキュレーターから送風し、書庫内の空気循環に努めた。

外気の影響を受けて温湿度の変動が激しい荷解整理室では、自動排水の業務用大型除湿機3台を4月から12月まで24時間稼働させた。湿度が高くなる梅雨時期と夏季には、業務用大型除湿機2台を追加稼働させた。また、空調設備の運転が止まる夜間には、エアコン2台を稼働させ、室内の湿度を60%以下に保つように努めた。エアコンの設定温度は、温湿度の状態を確認しながら調節した。

## ウ 虫菌の遮断

第5書庫内では、空気清浄機4台を稼働させてカビの原因となる浮遊菌の除去に努めた。各書庫の入口に設置した粘着マットのシートは1週間に1度交換した。各書庫と荷解整理室入口ドア下には隙間ブラシを設置し、文化財害虫の侵入を防いだ。書庫入口扉の開閉を必要最小限にすることも、職員間で周知した。また、各書庫入口には除菌スプレーを常備し、清潔な手で文書を扱えるように配慮した。

書庫内35か所に設置した虫トラップによる害虫モニタリング調査も継続して実施し、毎週月曜日に虫の捕獲数を確認して業務日誌に記載し、館内で情報を共有した。結果は月ごとに集計し、捕獲数が増加している場合は、書庫入口扉の隙間ブラシや隙間テープを点検し、劣化している隙間テープの貼り替えなどを行った。

荷解整理室では、虫の侵入と空気の流入を防止するため、窓の内側に養生パネルを貼った。

新規に受け入れた古文書は荷解室に別置き、目視で状態をチェックして、カビや虫害が確認できた古文書については、業者委託による薬剤（エキヒュームS）による殺虫・殺菌燻蒸を実施した。虫害への対処としては、職員による大型冷凍庫での低温殺虫処置も行った。受け入れた古文書は1点ずつドライクリーニングを行い、虫菌や埃塵のない清潔な状態にして、書庫に搬入した。文書の保存箱には防虫剤（エコミューアーフTプレート）を入れて、書架に配架した。

## エ カビ発生文書への対処と書庫の清掃

カビが発生し、平成29年度に燻蒸処置した行政文書（長期保存文書）については、文書整理ケースの表面のカビの残滓が栄養源となって新たなカビが再発生する恐れがあるため、平成30年度から文書整理ケースの入れ替え作業と書架の清掃を行っている。今年度も、令和2年4月8日から翌年3月17日まで、毎週水曜日の午前中2時間、断続的に21回の作業を継続し、2,795冊の文書整理ケースの入れ替えを行い、カビ発生文書への対処をすべて終了した。

書庫環境を清潔に保つため、書庫入口に書架の棚と床清掃用のモップを常備し、毎月一回、書庫前室や書庫内の通路の拭き掃除を行った。書庫見学等で多人数の入庫があった場合も、書庫内の床清掃を行った。除湿機、空気清浄機、空調機のフィルターの点検と清掃・交換も、定期的に行った。

## オ 観音書庫と白木書庫の環境管理

中間書庫の保存環境を把握するため、観音書庫と白木書庫に設置したデータロガーで温湿度のモニタリングを継続し、定期的（観音書庫は年7回、白木書庫は年8回）にデータを採取して確認した。ハンディデジタル温湿度計での温湿度計測も行った。

観音書庫の清掃は、10月14日（水）に実施し、書庫内の窓を開けて通風を行うとともに、書庫内の床や書架の掃除などを行った。

白木書庫では、8月26日（木）の書庫点検の際、昨年設置した書架（文書は未配架）にカビが発生していることが判明し、11月26日（木）に、カビが発生した書架の解体撤去処分を業者委託で実施した。

#### カ マイクロフィルム保管庫の環境管理

マイクロ保管庫では、湿度を下げるために除湿機を使用しているが、夏季の除湿機稼働は室内の温度上昇を招くため、湿度の変動をモニタリングしながら、除湿機の稼働状態を調節し、安定した湿度を保てるように努めた。

保管庫内では、保存フィルムの劣化によるビネガーシンドローム対策として、吸湿剤（シリカゲル）、酢酸吸着シート、フィルム保存剤（モレキュラーシーブ）をキャビネットに入れて、定期的に交換した。

マイクロ保管庫内の空気質を調べるため、6月30日（火）にパッシブインジケータを保管庫内5か所に設置した。調査の結果、マイクロ保管庫内の酢酸濃度が基準値以上であることが判明した。

9月4日（金）には、庫内の空気質を改善するため、新たに高性能ケミカルフィルター装着の大型空気清浄機（フレッシュオドコップMF）を導入し、稼働を開始した。導入した空気清浄機の効果を確認するために、11月10日（火）にパッシブインジケータを保管庫内の5か所に設置して、導入前と導入後の酢酸濃度の変化を比較調査し、庫内の酢酸濃度が低下していることを確認した。

#### (4) フィルム

広島県史編さん室が撮影した写真フィルム、又は当館が開館後に撮影したマイクロフィルムなどのうち、PETベースフィルムはビネガーシンドロームにより劣化が進んでいるものが少なくない。中には、現在では再撮影などが困難なものも含まれるため、平成29年度にフィルムスキャナーを購入し、デジタル化による複製作成を開始した。令和2年度は次のマイクロフィルムについて実施した。

市町村名（撮影当時）	文書群数	フィルム本数（コマ数）
高田郡八千代町	4	2（926コマ）
埼玉県	1	1（102コマ）
東京	2	6（2,907コマ）
山県郡芸北町（国郡志）	1	1（454コマ）
福山市	1	2（966コマ）
計	9	12（5,355コマ）



## 4 利 用

### (1) 総括表

年 度	開館日数	来館者数	内 容					利用券 発行数
	(日)	(人)	閱 覧	利用相談等	見 学	展示観覧	講座等	
令和元年度まで	9,169	155,564	32,458	11,755	5,027	49,027	57,297	7,041
令和2年4月	0	9	5	4	0	0	0	2
5月	6	32	24	8	0	0	0	14
6月	26	101	70	31	0	0	0	33
7月	25	164	88	16	0	60	0	29
8月	25	242	96	20	0	113	13	30
9月	23	206	86	26	0	94	0	38
10月	27	231	95	32	0	80	24	24
11月	23	302	75	25	43	113	46	28
12月	23	151	73	20	0	58	0	25
令和3年1月	21	124	72	30	1	21	0	20
2月	22	225	78	20	0	40	87	19
3月	26	170	110	27	0	33	0	31
令和2年度計	247	1,957	872	259	44	612	170	293
計	9,416	157,521	33,330	12,014	5,071	49,639	57,467	7,334

※ 令和2年3月9日（月）～5月23日（土）は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、また9月7日（月）は台風10号接近のため臨時休館した。

### (2) 文書の出納・複写状況

年 度	総 数 (冊)	内 訳						複写枚数(枚)
		行政文書	行政資料	図書等	開架図書	古文書	複製資料	
令和元年度まで	184,909	15,175(3,750)	3,405	26,636	4,869	82,148	52,676	500,196
令和2年4月	56	7(6)	0	4	0	34	11	56(373)
5月	128	49(18)	0	4	14	41	20	291(10)
6月	530	37(3)	7	5	30	361	90	651(245)
7月	1,330	22(12)	8	20	17	1178	85	314(0)
8月	955	62(12)	27	46	52	661	107	373(0)
9月	636	27(6)	1	22	94	380	112	1,084(59)
10月	565	76(52)	1	19	61	285	123	582(22)
11月	368	35(28)	0	18	44	126	145	665(1)
12月	940	64(26)	0	4	90	733	49	138(1)
令和3年1月	1,030	41(16)	4	53	89	150	693	137(86)
2月	560	31(0)	8	11	211	239	60	164(7)
3月	689	63(26)	13	57	218	276	62	366(4)
令和2年度計	7,787	514(205)	69	263	920	4,464	1,557	4,821(808)
計	192,696	15,689(3,955)	3,474	26,899	5,789	86,612	54,233	505,017

※ 行政文書欄の（ ）は、県職員の利用を内数で示した。複写枚数欄の（ ）は、デジタルデータの複写申請があったデータ数を外数で示した。

### (3) 地域別利用券発行状況

(単位：人・%)

区 分		平成 29 年度まで	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	計	割 合
県 内	広島市内	3,140	135	154	171	3,600	49.1
	広島市外	1,805	87	58	69	2,019	27.5
	計	4,945	222	212	240	5,619	76.6
県 外		1,490	76	72	53	1,691	23.1
外 国		20	2	2	0	24	0.3
計		6,455	300	286	293	7,334	100.0

### (4) 職業別利用券発行者数

(単位：人・%)

区 分	平成 29 年度まで	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	計	割 合
会社員	1,072	40	58	68	1,238	16.9
自営業(農業を含む)	212	9	18	25	264	3.6
公務員	809	31	27	44	911	12.4
小中高校教員	182	4	5	3	194	2.7
大学教員	833	34	33	24	924	12.6
学生	810	66	26	21	923	12.6
大学院生	444	9	9	11	473	6.4
無職(不明を含む)	2,093	107	110	97	2,407	32.8
計	6,455	300	286	293	7,334	100.0

### (5) 年代別・男女別利用券発行者数

(単位：人・%)

区 分		平成 29 年度まで		平成 30 年度		令和元年度		令和 2 年度		計		割 合
10 歳 ～	男	59	125	1	5	1	1	4	5	65	136	1.8
	女	66		4		0		1		71		
20 歳 ～	男	859	1,376	48	80	25	44	25	39	957	1,539	21.0
	女	517		32		19		14		582		
30 歳 ～	男	832	999	25	32	29	35	33	46	919	1,112	15.2
	女	167		7		6		13		193		
40 歳 ～	男	797	1,007	26	42	45	58	38	51	906	1,158	15.8
	女	210		16		13		13		252		
50 歳 ～	男	719	893	26	35	37	49	37	52	819	1,029	14.0
	女	174		9		12		15		210		
60 歳 ～	男	1,038	1,159	49	56	33	37	41	52	1,161	1,304	17.8
	女	121		7		4		11		143		
70 歳 ～	男	796	846	46	50	57	61	41	47	940	1,004	13.7
	女	50		4		4		6		64		
不 明	男	38	50	0	0	0	1	1	1	39	52	0.7
	女	12		0		1		0		13		
計	男	5,138	6,455	221	300	227	286	220	293	5,806	7,334	100.0
	女	1,317		79		59		73		1,528		

## (6) 文書の貸出し（展示のみ）

- ア（公財）広島市文化財団 広島市郷土資料館（企画展「安芸の名産・特産－広島藩の殖産興業－」）  
令和2年6月23日（火）～7月5日（日）（橋本家文書1点、深井家文書1点、保田（義）家文書1点、和田家文書1点）
- イ 広島県立美術館（築庭400年記念展示「縮景園と近世広島の絵画」）令和2年10月1日（木）～12月24日（木）（原家文書1点、三好家文書1点）
- ウ（一財）筆の里振興事業団（筆の里工房展覧会「陽明文庫展 ユネスコ世界記憶遺産 近衛家1000年の栄華」）令和2年10月3日（土）～11月15日（日）（大内基康氏収集文書2点）
- エ 東広島郷土史研究会（於東広島芸術文化ホールくらら、郷土史展「広島藩の幕末史」）令和2年12月9日（水）～14日（月）（近藤家文書1点）
- オ（公財）広島市文化財団 広島城（企画展「江戸時代の旅事情」）令和3年2月9日（火）～2月14日（日）（竹内家文書3点、野坂家文書2点、千葉家文書2点、保田（義）家文書2点）
- カ（公財）広島市文化財団 広島市郷土資料館（特別展「広島の災害の歴史－自然の猛威と先人の知恵」）  
令和3年2月23日（火）～2月28日（日）（県議会文書1点、安佐郡村役場文書2点、中垣家文書1点）

## (7) 出版物等への掲載許可

当館収蔵資料32件（86点）について出版物等への掲載を許可した。内訳は次のとおりである。

申請者分類	件数	点数
マスコミ（新聞・テレビ等）	5	9
行政機関（公立博物館・自治体史等）	7	21
個人	7	34
出版社	9	9
その他（企業・団体等）	4	13
計	32	86

## (8) レファレンスサービス

当館の受付カウンターで直接質問を受けるほか、手紙・電話・ファクス・電子メールなどの依頼を受けて、必要な情報や文書資料・文献の提供を行っている。

(1)の受付カウンターでの「利用相談」以外に、手紙・電話・ファクス・電子メールなどによる令和2年度のレファレンスサービスの総数は525件であった。

## (9) ホームページのアクセス数

令和2年度のホームページの延べアクセス件数は、86,702件であった。内訳は次のとおりである。

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
アクセス件数	6,649	8,756	8,064	8,105	7,723	7,429	6,801	6,654	5,498	7,495	6,751	6,777	86,702

## 5 展示・普及啓発

郷土の歴史に関する学習の機会を提供するとともに、文書等資料の歴史的価値についての認識を深めるため、次の事業を実施した。

### (1) 展 示

#### ア 収蔵文書展

テ ー マ	担 当	期 間	日 数	点 数	観覧者数
災害を語る歴史資料 ※1	西 向 下向井	令和2年10月5日(月) ～令和2年12月26日(土)	70日間	185点	251名
資料からみた 広島県庁舎 の歴史 ※2	荒 木	令和3年3月29日(月) ～令和3年5月7日(金)	31日間	72点	111名

※1 令和2年3月27日(金)～6月13日(土)に開催を予定していたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため3月9日(月)から臨時休館としたことにより、10月5日(月)から改めて開催した。点数は、パネル写真や被災資料のレスキュー作業に使用した道具類なども含む。なお、6月2日(火)から、アーカイブズウィークの行事として、ホームページに収蔵文書展「災害を語る歴史資料」のページを掲載した。

※2 令和3年3月29日(月)～6月12日(土)に開催を予定していたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため5月8日(土)から臨時休館としたことにより、5月7日(金)で打ち切りとなった。

#### イ 常設展(収蔵文書の紹介)

常設展では、次のテーマで収蔵文書の紹介を行った。

テ ー マ	担 当	期 間	日 数	点 数	観覧者数
広島の路面電車—写真で見る創業・ 被爆・現在— ※	伊 藤	令和2年7月10日(金) ～9月26日(土)	62日間	50点	267名
新たに収集した文書から II	西 村	令和3年1月19日(火) ～3月19日(金)	50日間	60点	85名

※ 展示点数はパネル写真なども含む。展示観覧者数は、持ち帰られた展示図録の数をもとにしている。

#### ウ その他

常設展「新たに収集した文書から」の期間中、説明パネルをあわせて展示した。

期 間	日数	内 容	パネル数
令和3年1月19日(火)～3月19日(金)	50日間	古文書の紙の使い方・折り方 花押・印章 宛名と敬意・脇付	3枚 3枚 2枚

### (2) 講演会

収蔵文書展にちなんだ講演会を毎年実施しているが、令和2年度は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため実施しなかった。

### (3) 古文書解説講座の開催

#### ア 古文書解説入門講座

令和2年度は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため実施しなかった。

#### イ 続古文書解説入門講座

令和2年度は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため実施しなかった。

#### (4) 行政文書・古文書保存管理講習会（広文協との共催）

歴史資料として重要な行政文書及び古文書などの散逸防止、適正な管理及びその利用に関して、市町等の職員を対象に次のとおり実施した。

日 時	令和2年11月19日（木）10時～15時
場 所	広島県情報プラザ第1研修室
参加者	57名
内 容	講演会 「役場庁舎・博物館・図書館書庫のIPM（総合的有害生物管理）について」 九州国立博物館 博物館科学課長 木川りか 事例報告 「広島県立文書館におけるIPMの取り組み」（書庫見学を含む） 広島県立文書館 総括研究員 荒木清二 広島県立文書館 従事員 下向井祐子

#### (5) 大学等学外実習

##### ア 安田女子大学「古文書学実習」の学外実習

日 時	令和2年8月4日（火）9時30分～16時30分
場 所	文書館研修・会議室
参加者	安田女子大学文学部日本文学科 引率教員 島田大助 安田女子大学文学部日本文学科 3年生 12名
内 容	講 義 1 ガイダンス 研究員（エルダー） 伊藤公一 2 文書館学概論（見学を含む） 総括研究員 荒木清二 3 古文書の収集・整理・保存 主任研究員 西向宏介 4 文書館保存の現状と問題点 研究員（エルダー） 西村 晃 従事員 長谷川 紫 5 古文書の補修と保存（実習を含む） 主任研究員 西向宏介 従事員 下向井祐子 従事員 日高 愛

##### イ 比治山大学「博物館資料保存論」授業

日 時	令和3年2月3日（水）10時～12時
場 所	文書館研修・会議室
参加者	比治山大学現代文化学部 引率教員 伊藤 実 比治山大学現代文化学部 2年生 8名
内 容	文書館学概論（見学を含む） 研究員（エルダー） 伊藤公一

##### ウ 県立広島大学「博物館資料保存論」授業

令和3年2月9日（火）13時～16時に予定していたが、広島県の第3次「新型コロナウイルス感染防止集中対策期間」（2月8日～21日）に当たっていたため中止した。

(6) 連携事業（県立広島大学・広島県立図書館・広島県立文書館連携公開講座）

令和2年7月に「日本文化に見る宴」を統一テーマとして、当館研修会議室において、3回連続の公開講座を予定していたが、新型コロナウイルス感染防止のため中止した。

(7) 「広島県立文書館だより」第45号の発行（令和3年3月17日）

内 容			
【表紙】	新型コロナウイルス感染症への対応	館長	平岡典昭
【収蔵文書展に寄せて】	二つの広島県庁舎―戦前と戦後―	総括研究員	荒木清二
【閲覧室から】	「広島県立文書館データベースシステム」 (デジタルアーカイブ)の公開	総括研究員	荒木清二
【その他】	令和元年度に収集した古文書 令和元年度の主なできごと		

(8) 第15回中国四国地区アーカイブズウィーク（6月1日～7日）

第15回中国四国地区アーカイブズウィークの事業として行事を計画したが、新型コロナウイルス感染防止のため中止し、ホームページに3月27日（金）から開催予定であった収蔵文書展「災害を語る歴史資料」のページを掲載した。

## 6 研究・研修・調査

### (1) 研究

#### ア 『広島県立文書館紀要』第15号の印刷製本

令和2年度に発行した『広島県立文書館紀要』第15号を印刷製本した。（内容は前年の年報に掲載）

#### イ 資料集第11集の刊行

古文書解読同好会に所属する有志が解読した『村上家乗 安政元年・二年』（広島大学文学部日本史研究室所蔵）を、研究員（エルダー）西村 晃が加わって校正を行い、解説を付して令和3年3月26日付けで発行した。（印刷製本は次年度）

### (2) 研修・会議への参加・報告

#### 第7回全国史料ネット研究交流集会（1名）

令和3年2月20日（土）～21日（日） オンライン(Zoom)を活用しての参加

## 7 その他

### (1) 広島県市町公文書等保存活用連絡協議会（広文協）事務局

#### ア 総会の開催

令和2年5月29日（金）に予定していたが、新型コロナウイルスの感染拡大により中止し、書面議決により議案が承認された。

#### イ 役員会の開催

令和2年11月19日（木）15：30～16：15／県立文書館研修・会議室

#### ウ 行政文書・古文書保存管理講習会の開催（県立文書館と共催）

令和2年11月19日（木）10：00～15：15／広島県情報プラザ第1研修室

講演 木川りか氏（九州国立博物館 博物館科学課長）

「役場庁舎・博物館・図書館書庫のIPM（総合的有害生物管理）について」

事例報告 荒木清二・下向井祐子（広島県立文書館）

「広島県立文書館におけるIPMの取り組み」

参加者 57名

#### エ 研修会の開催

令和2年10月6日（火）／県立文書館研修・会議室

講演 住岡輝彦氏（広島県総務局総務課文書グループ主査）

「広島県の行政文書作成等に関するガイドラインについて」

参加者 27名

#### オ 会報（『広文協通信』）の発行

第38・39合併号 令和3年3月31日発行

木川りか氏「役場庁舎・博物館・図書館書庫のIPMについて」ほか

#### カ その他

行政文書や歴史資料が被災した場合の迅速な救出・保全に資するため、「被災（水損）文書のレスキュー体制」を整備するとともに、各会員の「被災文書対応窓口」を定めた。

(2) 全国歴史資料保存利用機関連絡協議会（全史料協）広報・広聴委員会事務局

ア 委員会の開催

3回の開催を予定していたが、新型コロナウイルスの感染拡大により全て中止し、メールにより協議・調整を行った。

イ 役員会への出席

第1回 新型コロナウイルスの感染拡大のため、書面による開催

第2回 令和3年2月16日（火）13:30～17:00／オンライン(Zoom)を活用しての開催

ウ 会報（『全国歴史資料保存利用機関連絡協議会 会報』）の発行

第108号 2020（令和2）年9月30日発行

高木秀彰「コロナ禍におけるアーカイブズに想う」ほか

第109号 2021（令和3）年3月31日発行

公文書館機能普及セミナー in 鳥取特集号

エ 会誌（『記録と史料』）の発行

第31号 2021（令和3）年3月31日発行

「特集・コロナ禍とアーカイブズの未来」ほか

(3) 施設見学受入れ

11月19日（木） 行政文書・古文書保存管理講習会参加者 43名



## 8 業務日誌

- 4月1日(水) 新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館（令和2年3月9日～5月23日）  
会計年度任用職員制度が開始（嘱託員の名称を従事員へ変更）
- 4月2日(木) 長船友則氏から長船友則氏収集資料（200407）の追加寄託受入れ（西向）
- 4月3日(金) 中国新聞記者が被爆者健康手帳交付申請書の書庫収納状況と『広島県庁原爆被災誌』に収録された手記について取材（4月15日と17日に掲載）
- 4月7日(火) 三浦昇一資料（201806）の一部を返却（福山市，荒木・伊藤）
- 4月8日(水) 文書整理ケースの入れ替え作業（今年度初，毎週水曜日，3月17日まで断続的に継続）
- 4月13日(月) 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため，文書調査員へ活動中止について通知（～6月19日）
- 5月8日(金) 観音書庫と白木書庫で温湿度データ採取（以後，観音書庫は7月1日，8月26日，10月8日，11月18日，12月25日，2月19日，白木書庫は6月26日，8月26日・28日，10月8日，10月15日，11月26日，1月14日，2月19日に採取，荒木・伊藤）
- 5月15日(金) 兼田文隆氏所蔵資料（201211）追加寄贈受入れ
- 5月25日(月) 新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策を講じて開館  
紀要15号の印刷製本が納品
- 5月30日(土) 藤原惣一収集文書（202001）寄贈受入れ
- 6月1日(月) 第15回中国四国地区アーカイブズウィークに参加（～7日）  
第1・第4・第5書庫と第4書庫前室・マイクロ保管庫で除湿機の稼働開始（6月15日から旧消毒室で開始，12月1日までに全室で停止，荷解整理室では令和2年3月から翌年1月9日まで稼働）
- 6月2日(火) ホームページに3月27日から開始予定であった収蔵文書展「災害を語る歴史資料」のページを，アーカイブズウィークに合わせて掲載
- 6月3日(水) 旧埼玉県蚕業試験場所蔵文書（202002）寄贈受入れ
- 6月5日(金) 広文協総会中止により，会員宛てにメールで書面議決の文書を送付
- 6月10日(水) 毎日新聞記者が「平成30年7月豪雨」のレスキュー活動について取材（19日も）
- 6月11日(木) 田中真一文書（202005）の寄贈を受入れ
- 6月19日(金) 横田登旧蔵文書（202003）の寄贈受入れ  
利用者用のカメラ接写台を閲覧室と撮影台に設置
- 6月29日(月) 「広島県庁舎耐震改修工事に伴う仮移転業務に係る職員説明会」で「移転に伴う保管文書の適切な取扱いについて」説明（県庁，荒木）
- 6月30日(火) マイクロ保管庫内の空気質を調査するため，パッシブインジケータを5か所に設置
- 7月7日(火) 平成30年7月豪雨（西日本豪雨）から2年を迎え，『中国新聞』に被災資料のレスキューボランティアに関する特集記事「史料保全 平時から備え」が掲載
- 7月10日(金) 第1回収蔵文書の紹介展「広島路面電車—写真で見る創業・被爆・現在—」開始（～9月26日）
- 7月13日(月) 展示アンケート協力者に配布する絵葉書シリーズに路面電車の絵葉書8点としおりを追加
- 7月14日(火) 広島港湾振興事務所で文書選別（荒木）
- 7月16日(木) 中国新聞記者が宇吹暁氏所蔵文書（藤居平一資料）を取材（以後も数回取材，8月2日付けで「被爆者運動 原点伝える」などと報道）
- 7月17日(金) TBSテレビが「高野源進書簡」を取材（8月6日「NEWS23“特別企画 綾瀬はるか「戦争」を聞く」で放映）  
令和元年度年報をホームページに掲載  
横山家文書寄贈（一部寄託）受入れ（廿日市市，西村，7月28日に全点返却）
- 7月21日(火) 商工労働局経営革新課から移管された文書を受入れ，運搬（荒木・伊藤）
- 7月27日(月) 梶矢祥弘氏収集文書（200507）の追加寄贈（7月29日も）
- 7月29日(水) 「ミュージアム キャラクター アワード2020」（インターネットミュージアム主催，～9

- 月 11 日) に当館マスコットのモンちゃんとジョーくんが参加 (1,227 票で 12 位)
- 7 月 30 日(木) 上原区有文書 (202004) の寄託を受入れ, 運搬 (西村)
- 8 月 4 日(火) 安田女子大学「古文書学実習」学外実習を実施 (研修・会議室)
- 8 月 5 日(水) 県庁舎の耐震工事で発見され, 営繕課から移管された文書を受入れ, 運搬 (荒木)
- 8 月 20 日(木) 中国新聞記者と古文書寄贈希望者がその古文書の歴史的価値について取材 (9 月 6 日に掲載されたが古文書は寄贈されず)
- 8 月 21 日(金) 事務室複写機の入替え
- 8 月 26 日(水) 白木書庫で昨年度設置した書架の棚にカビの付着を確認
- 9 月 4 日(金) マイクロ保管庫の空気質改善のため, 高性能ケミカルフィルター装着の大型空気清浄機を設置
- 井上家文書 (200808) の追加寄贈受入れ
- 9 月 7 日(月) 台風 10 号接近のため臨時休館
- 行政文書選別作業 (県庁書庫, 9 月 9 日・11 日・14 日・15 日・23 日・30 日も, 平岡・荒木・伊藤・神原)
- 9 月 18 日(金) 業者燻蒸室でエキヒューム S による文書燻蒸 (~23 日)
- 9 月 24 日(木) 横山家文書 (202006) の寄贈受入れ (11 月 27 日に追加受入れ)
- 9 月 30 日(水) 全史料協広報・広聴委員会が全史料協会報第 108 号を発行
- 10 月 2 日(金) 渡辺家文書 (202007) の寄贈受入れ
- 10 月 5 日(月) 収蔵文書展「災害を語る歴史資料」開始 (~12 月 26 日)
- 永井 (操) 家文書 (202008) の寄贈受入れ (10 月 16 日に追加受入れ)
- 10 月 6 日(火) 広文協研修会を研修会議室で開催
- 10 月 8 日(木) 大型冷蔵庫により新規受入れ古文書を低温殺虫処置 (第 1 回, ~3 月 18 日, 第 2 回は 3 月 18 日~5 月 11 日)
- 10 月 12 日(月) 広島県情報プラザ火災・防災訓練
- 10 月 14 日(水) 観音書庫清掃 (荒木・伊藤・従事員 4 名)
- 中国新聞の記者が収蔵文書展を取材 (11 月 5 日の文化欄に「資料が語る 災害の記録」の見出しで記事掲載)
- 10 月 19 日(月) 廃棄予定の行政文書から行政資料抜取り作業 (県庁書庫, 荒木・伊藤・従事員 4 名)
- 10 月 20 日(火) 農林水産総務課から移管された文書を受入れ, 運搬 (荒木・伊藤)
- 県教育委員会施設課で, 白木書庫利用に関して協議 (荒木・伊藤)
- 10 月 27 日(火) 閲覧室入口に非接触型検温消毒機を設置
- 11 月 2 日(月) 佐伯家文書 (202009) の寄贈受入れ
- 11 月 9 日(月) 県教育委員会で文書選別作業 (平岡・荒木・伊藤・神原)
- 11 月 10 日(火) 選別した行政文書の箱詰め作業 (県庁書庫, 伊藤・土井・長谷川・高夫)
- マイクロ保管庫に設置した空気清浄機の効果を確認するために, 空気質を調査するパッシブインジケータを保管庫内の 5 か所に設置
- 11 月 11 日(水) 県立図書館から移管された行政資料を受入れ
- 広島大学日本史研究室で資料集の校正 (東広島, 西村)
- 11 月 18 日(水) 県庁で選別した行政文書の観音書庫運搬作業の立会 (伊藤)
- 11 月 19 日(木) 行政文書・古文書保存管理講習会, 広文協役員会を開催
- 11 月 26 日(木) 棚にカビが付着した白木書庫の書架を解体撤去 (業者委託)
- 県教育委員会で選別文書を箱詰め・搬出
- 専法寺文書 (202010) の寄託受入れ
- 11 月 27 日(金) 松崎 (守) 家文書 (202011) の寄贈受入れ
- 12 月 7 日(月) 第 4 書庫の一部にハンドル式移動式書架を設置 (~8 日)
- 12 月 16 日(水) 増尾家文書 (202012) の寄贈を受入れ (12 月 22 日, 3 月 17 日に追加寄贈)
- 1 月 6 日(水) 三原市教育委員会文化課職員から相談され, 旧三原市立中央図書館の収蔵資料の管理について助言 (荒木・西向)

- 1月13日(水) 寄託・広島銀行「創業百年史」編纂資料49点を返却(3月3日にも10点返却)
- 1月19日(火) 第2回収蔵文書の紹介展「新たに収集した文書からⅡ」と常設展開始(～3月19日)
- 1月28日(木) 国立公文書館から職員4名へ認証アーキビストの認証状を交付(荒木・西向・西村・下向井)
- 2月3日(水) 古文書整理臨時職員を雇用(～3月24日, 学生3名)  
比治山大学「博物館資料保存論」学外実習を実施(研修・会議室)
- 2月4日(木) 広島市内の私立中学校教員から相談され, 図書館の書籍に付着したカビの処置について助言
- 2月5日(金) 横山家文書9点を返却
- 2月9日(火) 県立広島大学宮島学センターの大知徳子特命講師へ, この日に予定して中止となった県立広島大学「博物館資料保存論」学外実習の資料を渡す  
広島港湾振興事務所から選別文書を受領(荒木・伊藤)
- 2月16日(火) 全史料協第2回役員会Web会議へ出席(平岡)
- 2月20日(土) 第7回全国史料ネット研究交流集会上で参加(～21日, 下向井)
- 2月24日(水) 会計年度任用職員1名雇用
- 2月25日(木) 寄託・大内基康氏収集文書(201806)2点を返却  
県立吉田高等学校1年生探求科の県立図書館訪問のために当館研修会議室を提供し, 当館の概要を説明(伊藤)
- 3月1日(月) 新データベースシステム稼働開始
- 3月4日(木) 薬務課から移管された文書を受入れ, 運搬(荒木)
- 3月9日(火) 教育委員会で選別した行政文書等を観音書庫へ運搬(荒木・伊藤)
- 3月12日(金) 閲覧室に書架1台を増設
- 3月15日(月) キャスター付き書架10台納入
- 3月17日(水) 『広島県立文書館だより』第45号発行  
毎週水曜日に実施してきた文書整理ケース入替作業が終了し, 平成28年12月1日のカビ発生以来, 4年以上に及んだカビ処理作業がすべて終了  
荷解整理室の湿度が上昇し, タンク式業務用大型除湿機2台を稼働  
増尾家文書追加寄贈受入れ
- 3月22日(月) 全史料協広報・広聴委員会の引継書類・図書を神奈川県立公文書館へ発送
- 3月26日(金) 『広島県立文書館資料集』第11号発行  
廣重家文書(202013)の寄贈受入れ
- 3月29日(月) 収蔵文書展「資料からみた広島県庁舎の歴史」を開始, 展示図録を発行
- 3月31日(水) 『広文協通信』第38・39合併号発行  
全史料協広報・広聴委員会が全史料協会報第109号と会誌『記録と史料』第31号を発行

### Ⅲ 法律・条例・規則

#### 1 公文書館法

昭和 62 年 法律第 115 号  
最終改正 平成 11 年 法律第 161 号

(目的)

第 1 条 この法律は、公文書等を歴史資料として保存し、利用に供することの重要性にかんがみ、公文書館に関し必要な事項を定めることを目的とする。

(定義)

第 2 条 この法律において「公文書等」とは、国又は地方公共団体が保管する公文書その他の記録(現用のものを除く。)をいう。

(責務)

第 3 条 国及び地方公共団体は、歴史資料として重要な公文書等の保存及び利用に関し、適切な措置を講ずる責務を有する。

(公文書館)

第 4 条 公文書館は、歴史資料として重要な公文書等を保存し、閲覧に供するとともに、これに関連する調査研究を行うことを目的とする施設とする。

2 公文書館には、館長、歴史資料として重要な公文書等についての調査研究を行う専門職員その他必要な職員を置くものとする。

第 5 条 公文書館は、国立公文書館法(平成 11 年法律第 79 号)の定めるもののほか、国又は地方公共団体が設置する。

2 地方公共団体の設置する公文書館の当該設置に関する事項は、当該地方公共団体の条例で定めなければならない。

(資金の融通等)

第 6 条 国は、地方公共団体に対し、公文書館の設置に必要な資金の融通又はあっせんを努めるものとする。

(技術上の指導等)

第 7 条 内閣総理大臣は、地方公共団体に対し、その求めに応じて、公文書館の運営に関し、技術上の指導又は助言を行うことができる。

附 則

(施行期日)

1 この法律は、公布の日から起算して 6 月を超えない範囲内において政令で定める日から施行する。

(専門職員についての特例)

2 当分の間、地方公共団体が設置する公文書館には、第 4 条第 2 項の専門職員を置かないことができる。

(総理府設置法の一部改正)

3 総理府設置法(昭和 24 年法律第 127 号)の一部を次のように改正する。

第 4 条第 7 号の次に次の 1 号を加える。

7 の 2 公文書館法(昭和 62 年法律第 115 号)の施行に関すること。

附 則(平成 11 年 12 月 22 日法律第 161 号)抄

(施行期日)

第 1 条 この法律は、平成 13 年 1 月 6 日から起算して 6 月を超えない範囲内において政令で定める日から施行する。

#### 2 広島県立文書館設置及び管理条例

(昭和 63 年広島県条例第 1 号)

(設置)

第 1 条 県に関する歴史的資料として重要な行政文書、古文書その他の記録(以下「文書等」という。)を収集し、及び保存するとともに、これらの利用を図り、もって学術及び文化の発展に寄与するため、広島県立文書館(以下「文書館」という。)を設置する。

(位置)

第 2 条 文書館の位置は、広島市中区千田町三丁目とする。

(業務)

第 3 条 文書館は、次の業務を行う。

(1) 文書等の収集、整理及び保存に関すること。

(2) 文書等の利用に関すること。

(3) 文書等の調査及び研究に関すること。

(4) 文書等についての専門的な知識の普及啓発に関すること

(5) 文書等の目録、史誌、資料集等の編さん及び刊行に関すること

(6) その他文書館の目的を達成するために必要な事業に関すること

(職員)

第 4 条 文書館に、館長その他必要な職員を置く。

2 館長は、文書館の業務を掌理し、所属職員を指揮監督する。

(委任規定)

第 5 条 この条例に定めるもののほか、文書館の内部組織その他管理に関し必要な事項は、知事が定める。

附 則

この条例は、公布の日から起算して 8 月を超えない範囲内において規則で定める日から施行する。

(昭和 63 年 9 月広島県規則第 59 号で、同 63 年 10 月 1 日から施行)

#### 3 広島県立文書館管理規則

昭和 63 年広島県規則第 60 号  
最終改正 令和元年広島県規則第 32 号

(趣旨)

第 1 条 この規則は、広島県立文書館(以下「文書館」という。)の管理に関し必要な事項を定めるものとする。

(開館時間)

第 2 条 文書館の開館時間は、午前 9 時から午後 5 時までとする。ただし、土曜日の開館時間は、午前 9 時から正午までとする。

2 文書館の長(以下「館長」という。)は、必要があると認めるときは、前項の開館時間を臨時に変更することができる。

3 館長は、前項の規定により文書館の開館時間を臨時に変更しようとするときは、あらかじめその旨を文書館に掲示するものとする。

(休館日等)

第 3 条 文書館の休館日は、次のとおりとする。

- (1) 日曜日
- (2) 国民の祝日に関する法律（昭和 23 年法律第 178 号）に規定する休日
- (3) 1 月 2 日から同月 4 日まで及び 12 月 28 日から同月 31 日まで

2 館長は、必要があると認めるときは、前項の休館日以外の日において臨時に休館し、又は同項の休館日において臨時に開館することができる。

3 館長は、前項の規定により臨時に休館し、又は開館しようとするときは、あらかじめその旨を文書館に掲示するものとする。

（遵守事項）

第 4 条 文書館においては、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

- 1 広島県立文書館設置及び管理条例（昭和 63 年広島県条例第 1 号）第 1 条に規定する文書等（以下「文書等」という。）又は文書館の施設若しくは設備を亡失し、き損し、又は汚損しないこと。
- 2 他人に危害を及ぼし、迷惑を掛ける行為その他文書館の秩序を乱す行為をしないこと。
- 3 職員の指示に従うこと。

（禁止行為）

第 5 条 文書館においては、次に掲げる行為をしてはならない。ただし、館長の許可を受けた場合は、この限りでない。

- (1) 寄付の募集
- (2) 爆発物その他危険物の持ち込み
- (3) 行商その他これに類する行為
- (4) 宣伝その他これに類する行為
- (5) 広告物の掲示若しくは配布又は看板、立札類の設置

（入館の制限等）

第 6 条 館長は、前 2 条の規定に違反するおそれのある者又はこれらの規定に違反した者に対して、文書館への入館を拒否し、又は文書館からの退去を命ずることができる。

（文書等の寄贈及び寄託）

第 7 条 文書館は、文書等の寄贈及び寄託を受けることができる。

2 寄託を受けた文書等は、その保管、利用等に関し、寄託者と特約がある場合を除き、文書館所蔵の文書等と同様の取り扱いをするものとする。

3 寄託を受けた文書等が天災地変その他不可抗力により損害を受けたときは、その責めを負わないものとする。

（文書等の利用の制限）

第 8 条 文書等のうち、次に掲げるものは、館長が学術研究上特に必要があると認めた場合を除き、利用に供しないものとする。

- (1) 個人もしくは団体の秘密保持のため、又は公益上の理由により利用に供することが不適当な文書等の全部又は一部
  - (2) 文書等の整理又は保存上支障があるもの
- 2 寄贈又は寄託を受けた文書等の利用に関し寄贈者又は寄託者と特約がある場合は、当該特約に従うものとする。

（利用券）

第 9 条 文書等を利用しようとする者は、別記様式第 1 号による文書館利用券交付申請書を館長に提出し、別

記様式第 2 号による利用券（以下「利用券」という。）の交付を受けなければならない。

2 前項の場合において、館長は、必要と認めるときは、申請者にその身分を証明することができるものの提示を求めることができる。

3 利用券の有効期間は、交付の日から 1 年とする。

4 館長は、利用券の交付状況を明らかにするため、別記様式第 3 号による利用券交付台帳を備えなければならない。

（閲覧の手続）

第 10 条 文書等を閲覧しようとする者は、別記様式第 4 号による文書等閲覧申請書に利用券を添えて館長に提出し、閲覧しようとする文書等（以下「閲覧文書等」という。）を借り受けるものとする。

2 閲覧文書等の閲覧を終了した者は、速やかに当該閲覧文書等を返納しなければならない。

3 同時に借り受けることができる閲覧文書等は、館長が特別の理由があると認めた場合を除き、5 点以内とする。

（文書等の館外貸出し）

第 11 条 文書等の館外貸出しは、行わないものとする。ただし、館長が特別の理由があると認めた場合は、この限りではない。

（文書等の複写）

第 12 条 文書等の複写を希望する者は、別記様式第 5 号による文書等複写申請書に利用券を添えて館長に提出し、その承認を受けなければならない。

（出版物等への掲載）

第 13 条 文書等の全部又は一部を出版物等に掲載しようとする者は、あらかじめ、別記様式第 6 号による出版物等掲載許可申請書を館長に提出し、その許可を受けなければならない。

（損害賠償義務等）

第 14 条 文書等又は文書館の施設若しくは設備を亡失し、き損し、又は汚損した者は、別記様式第 7 号による亡失等届出書を館長に提出するとともに、これを修復し、又はその損害を賠償しなければならない。

（館長）

第 15 条 館長は、非常勤の職員をもって充てることができる。

（委任規定）

第 16 条 この規則の施行に関し必要な事項は、館長が定める。

附 則

この規則は、昭和 63 年 10 月 1 日から施行する。

附 則

この規則は、平成 5 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この規則は、平成 6 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この規則は、公布の日から施行する。

## 4 広島県文書等管理規則（抄）

（平成 13 年広島県規則第 31 号）

（文書等の廃棄等）

- 第 9 条 完結文書（第 7 条第 2 項の規定により決定された保存年限が 30 年である完結文書（第 4 項において「30 年保存文書」という。）を除く。）の保存年限が満了したときは、書庫に収蔵したものにあっては総務課長等において、その他のものにあっては主務取扱主任において廃棄するものとする。
- 2 主務取扱主任は、保存年限満了前に完結文書を廃棄しなければならない特別の理由が生じたときであっても、総務課長等の承認を得なければ、当該完結文書を廃棄することができない。
- 3 総務課長等又は主務取扱主任は、前 2 項の規定により完結文書を廃棄しようとするときは、当該完結文書を広島県立文書館（以下「文書館」という。）で保存することの適否について文書館の長（以下「文書館長」という。）の審査を受けなければならない。
- 4 総務課長等又は主務取扱主任は、保存年限の満了した 30 年保存文書及び前項の審査により文書館で保存すると決定された完結文書については、それらの文書が法令により廃棄しなければならないとされている場合等特別の理由がある場合を除き、文書館長に引き渡さなければならない。

附 則（平成 24 年 4 月 1 日規則第 35 号）抄

（経過措置）

- 2 この規則による施行前に主務取扱主任が決定した保存年限が長期である文書等の管理については、なお従前の例による。ただし、当該文書のうち、完結年度の翌会計年度の 4 月 1 日から起算して 30 年を経過する完結文書については、総務課長等又は主務取扱主任は、当該完結文書が法令により廃棄しなければならないとされている場合等特別の理由がある場合を除き、文書館長に引き渡すよう努めるものとする。

## 5 広島県文書等管理規程（抄）

（平成 13 年広島県訓令第 5 号）

（文書等の廃棄等）

- 第 43 条 総務課長等及び主務取扱主任は、保存年限が満了した完結文書は文書館に引き渡す文書等を除き、焼却、細断等適切な措置を講じた上で廃棄するものとする。ただし、電磁的記録については、磁気ディスク等に記録されている当該電磁的記録を消去する方法により廃棄するものとする。
- 2 総務課長等又は主務取扱主任が保存年限が満了した完結文書を文書館で保存することの適否について規則第 9 条第 3 項の規定により審査を受けるときは、当該完結文書の目録の写しを文書館長に送付するものとする。
- 3 文書館長は、前項の規定による審査の結果、文書館において保存しようとする廃棄予定文書については、別記様式第 11 号による廃棄予定文書保存通知書を作成し、総務課長等又は主務取扱主任に通知するものとする。

# ＝ 利 用 案 内 ＝

## 1 開館時間

- ・月～金曜日 9時～17時
- ・土曜日 9時～12時

## 2 休館日

- ・日曜日，国民の祝日・休日
- ・年末年始（12月28日～1月4日）

## 3 閲覧の仕方

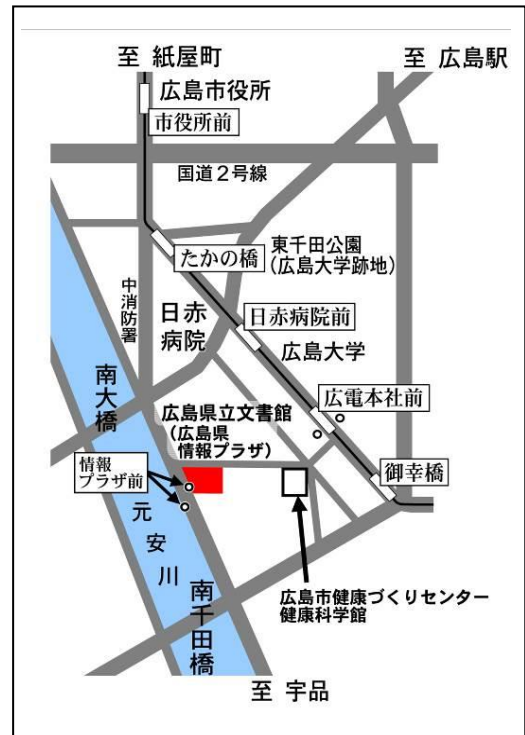
- ・初めて利用される方は閲覧室のカウンターで利用券の交付を受けてください。
- ・目録やカードで必要な文書を検索し，閲覧申請書に必要事項を記入してカウンターに出してください。
- ・一度に利用できる文書は，5点までです。
- ・文書の検索や利用について分からないことがあればカウンターでお尋ねください。

## 4 資料の複写等

- ・文書・図書の館外貸出しは行いません。
- ・文書の複写は，別に許可が必要です。カウンターで所定の手続きをしてください。
- ・複写は，実費をいただきます。

## 5 その他

- ・新型コロナウイルスの感染拡大防止のため，利用を制限する場合などがあります。
- ・来館にあたっては，文書館のホームページや館入口の掲示をご確認ください。



**交通** JR 広島駅から  
広島港行（ベイシティ宇品経由）バス  
…広島県情報プラザ前下車  
広島港行（紙屋町経由）路面電車  
…広電本社前下車約 500m  
広島県情報プラザ内駐車場 利用可能（有料）

### 広島県立文書館事業年報 第 32 号

（令和 2 年度分）

（令和 3 年 7 月発行）

編集・発行 広島県立文書館

〒730-0052 広島市中区千田町三丁目 7-47  
広島県情報プラザ内  
TEL 082(245)8444  
FAX 082(245)4541

広島県立文書館ホームページ : <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/monjokan/>

Eメールアドレス : [monjokan@pref.hiroshima.lg.jp](mailto:monjokan@pref.hiroshima.lg.jp)